

2025年度まちづくりネットモニター第8回調査結果 テーマ「郡山市ふれあい科学館について」



2001（平成13）年に開館した郡山市ふれあい科学館（高柳電設工業スペースパーク）ですが、開館以降展示物の内容を更新していないため、今後、展示の内容の更新について検討します。ふれあい科学館の現状及び展示更新のためのニーズ（科学・宇宙などへの興味）を把握し、展示物の更新の参考とするためのアンケートを実施しましたので、その結果についてお知らせします。（文化振興課）

【調査結果】

- 調査期間 2025年8月20日（水）～8月29日（金）（10日間）
- モニター数 427名（男性 185名 女性 241名 不明 1名）
- 回答者数 379名（男性 162名 女性 216名 不明 1名）
- 回答率 88.8%

【分析】

《回答者内訳》

(人)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	全体
男性	4	4	12	29	39	36	25	13	162
女性	7	6	29	61	60	42	10	1	216
不明	1	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	12	10	41	90	99	78	35	14	379

《第1章 認知度について》

- ・ アンケート回答者の97.4%が郡山市ふれあい科学館を認知しており、認知している人の91.6%は実際に来館したことがあると回答した。（問1、2）
- ・ 実際に来館したことのある人のうち、7割以上が来館目的を「宇宙劇場」（72.5%）、「展望ロビー」（70.1%）と回答した。（問5）

《第2章 展示物について》

- ・ 展示物のうち、「利用した（聞いた）ことがあるもの」、「評価が高いもの」の両方で「宇宙劇場」を選択する人が最も多かった。（問7、8）
- ・ 評価の低い展示物としては「星の一生」を選択した人が最も多く（4.7%）、次いで「進化する宇宙・ふくらむ宇宙」（4.2%）、「惑星探査車ローバ」（3.4%）となった。（問9）

《第3章 入館のしやすさについて》

- ・ 展示ゾーン及び宇宙劇場の入場料金について「適当」と回答する人が多く、それぞれ81.3%、78.6%だった。（問12、13）
- ・ 「来館しにくい」と回答した人は29.8%であり、駐車場不足、駐車料金の発生を理由とする人が多かった。（問14）

《第4章 満足度について》

- ・ 来館して「満足した」と回答した人が76.8%、他者に「薦めたい」と回答した人が89.9%、再度「来館したい」と回答した人が88.9%であった。（問15、17、18）

《第5章 その他》

- ・ ふれあい科学館に望むものとして「季節ごとのイベント」と選択する人が55.4%と最も多かった。（問20）

【考察】

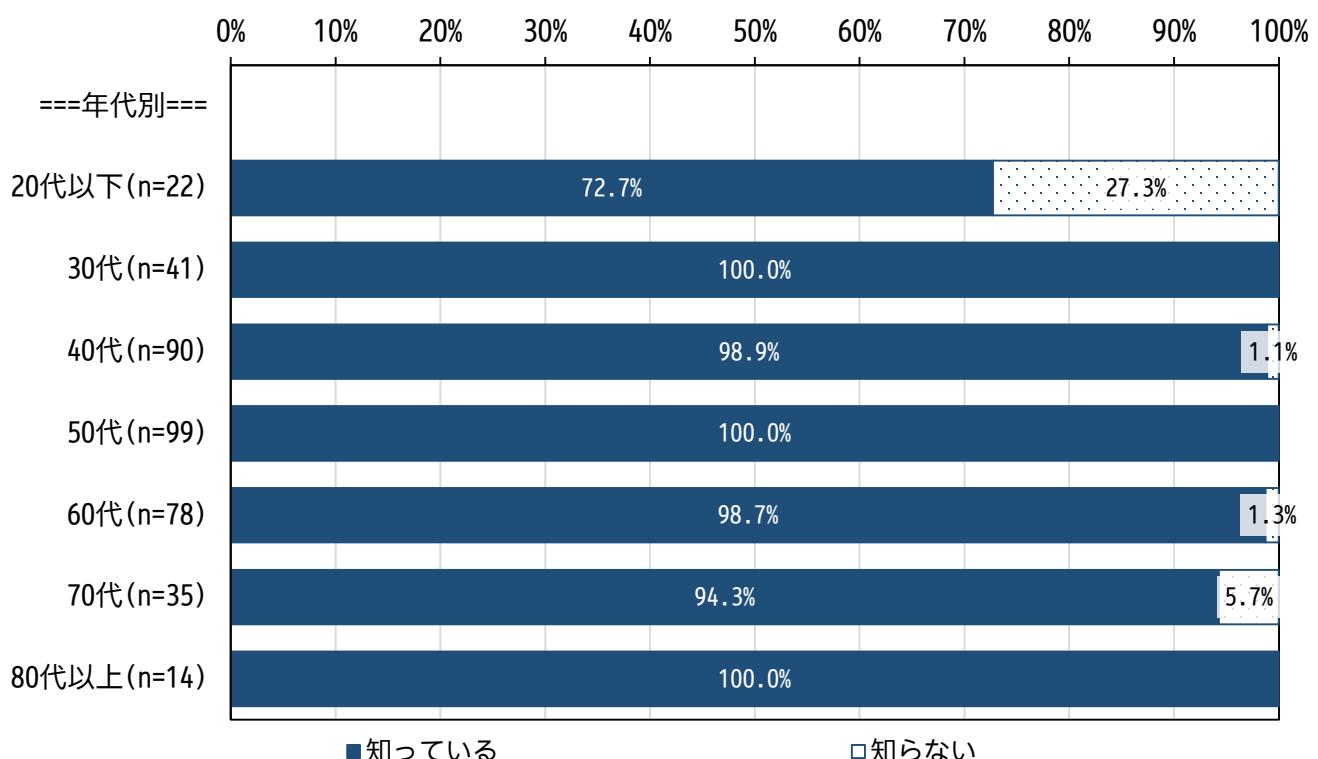
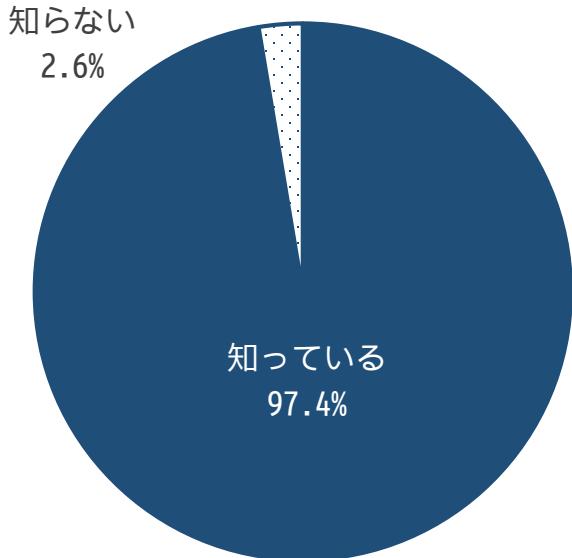
- ふれあい科学館は駅前ビルの高層階に位置し、世界一高いところにあるプラネタリウムであること、市街地から目視可能な施設であることなどもあり、高い認知度を誇っていると考えられる。
- 最も認知度、評価が高い展示物は「宇宙劇場（プラネタリウム）」であり、入場料金も「適当」、「安い」と回答する人が多いことからも提供しているサービスに対する満足度の高さが伺える。一方で、体験型展示と比較して鑑賞型の展示は評価が低く、来館目的が「宇宙劇場」、「展望ロビー」よりも低くなつたことから、ターゲット層を絞り、ニーズに沿った展示物に更新することが必要であると考えられる。
- 利用者満足度の高い施設であるが、再度来館したくなるような展示やイベントが求められている。

※構成比は、端数を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。
※棒グラフのn=○○は回答者数を示します。

第1章 認知度について

問1 郡山市ふれあい科学館（高柳電設工業スペースパーク）（以下、ふれあい科学館）をご存知ですか。
(1つ選択)

(回答者：379人)



①アンケート回答者の97.4%がふれあい科学館のことを認知している

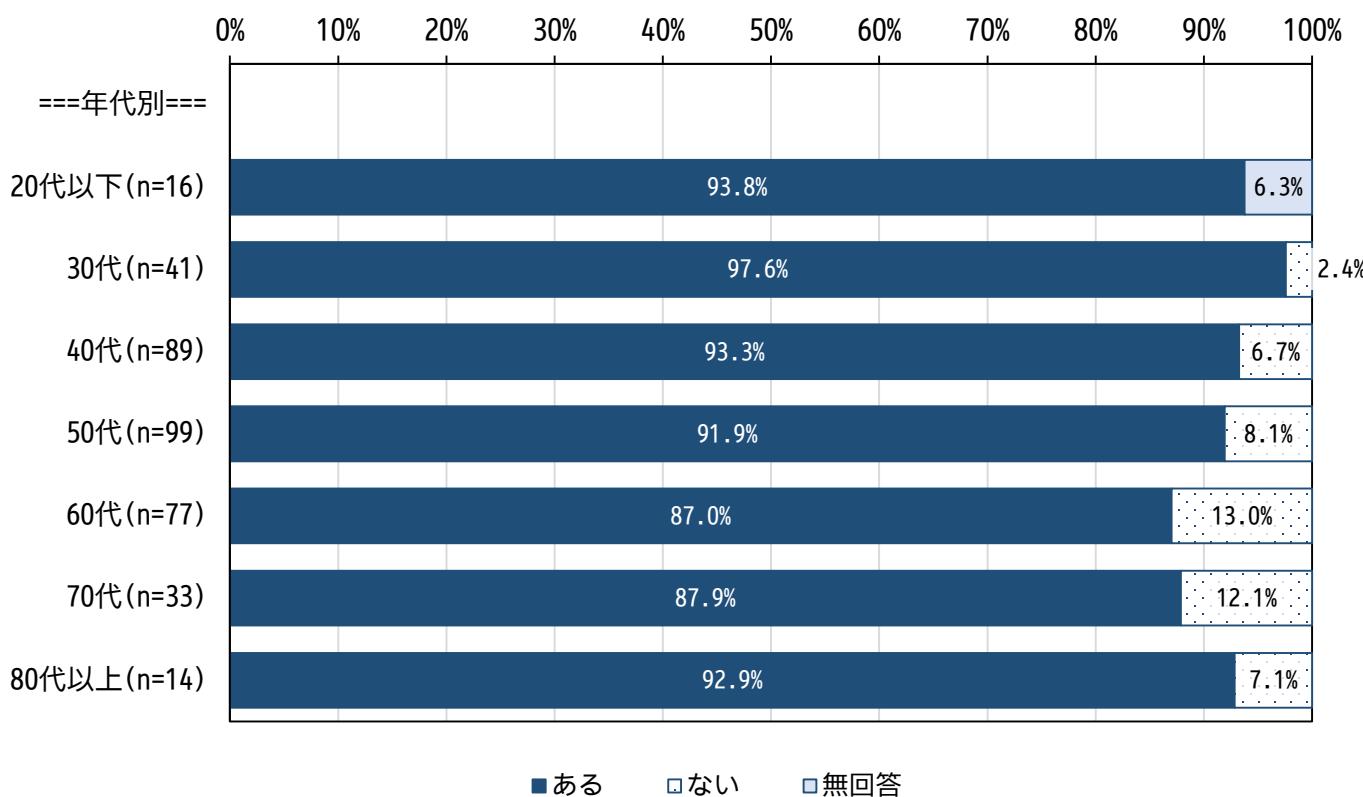
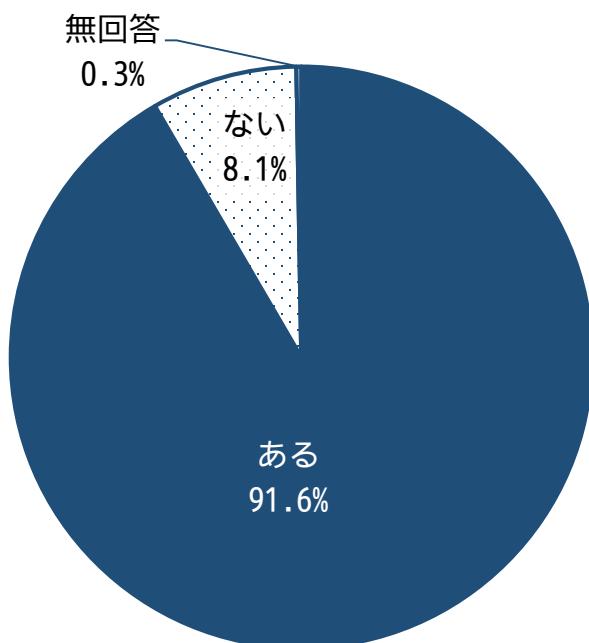
→ 市内における認知度は非常に高い

②30代以上の認知している割合が90%を超えており、20代以下は72.7%と低い値だった

→ 他世代と比較して20代以下の若者には施設が認知されていない

問2 「知っている」と回答した方は来館したことがありますか。（1つ選択）

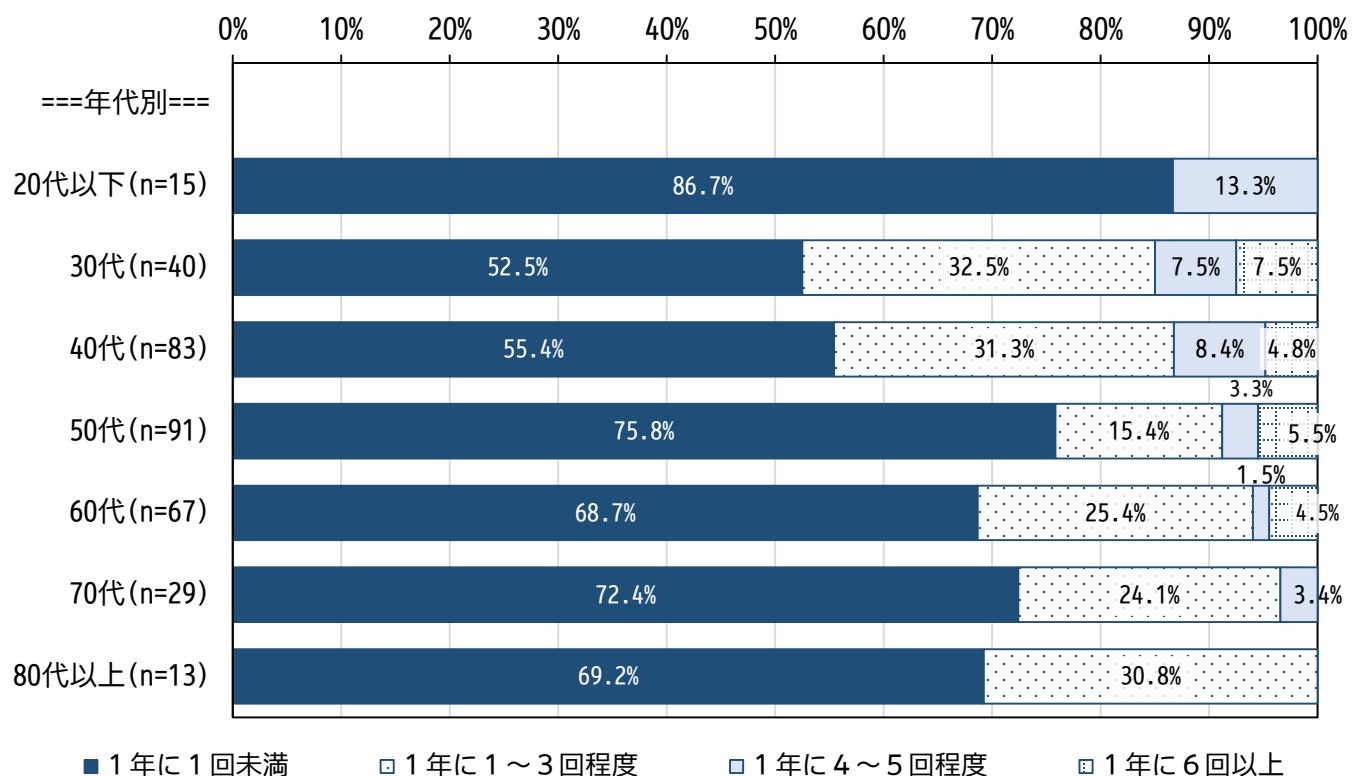
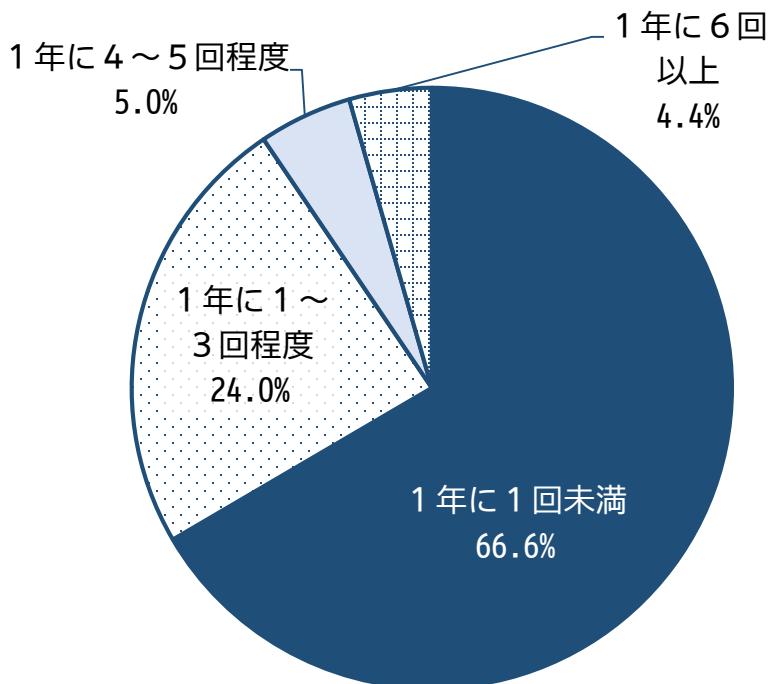
(回答者：369人)



- ① ふれあい科学館を知っている人の91.6%は実際に来館したことがある
→ 認知している方は科学館に訪れる割合が大きい（あるいは、来館する機会があるので、認知につながっている）
- ② ふれあい科学館に来館したことがある人の割合は、年代によるばらつきが少なく、20代以下でも90%以上の人人が来館したことがあると回答した
→ 開館から24年経つが、幅広い世代の方が利用していることがわかる

問3 来館したことが「ある」と回答した方は、来館する頻度として最も近い選択肢を選んでください。 (1つ選択)

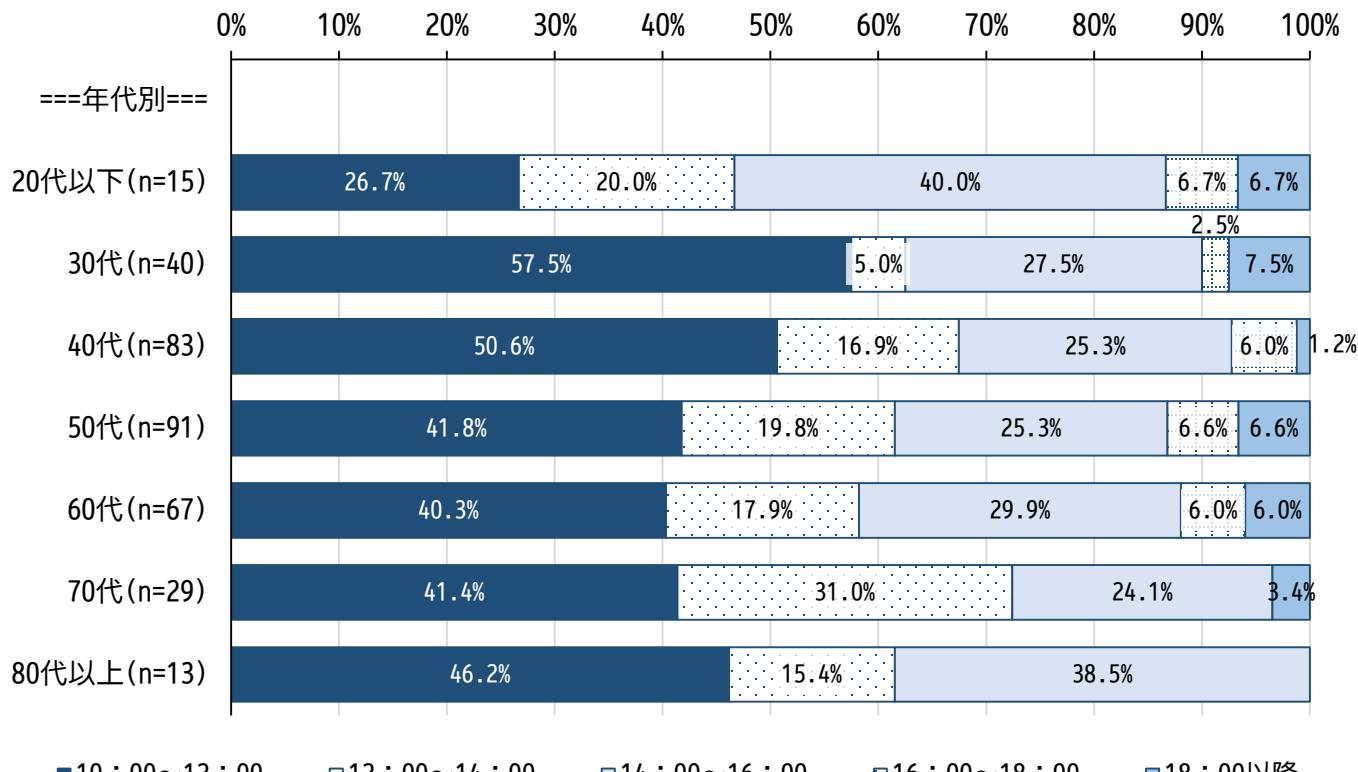
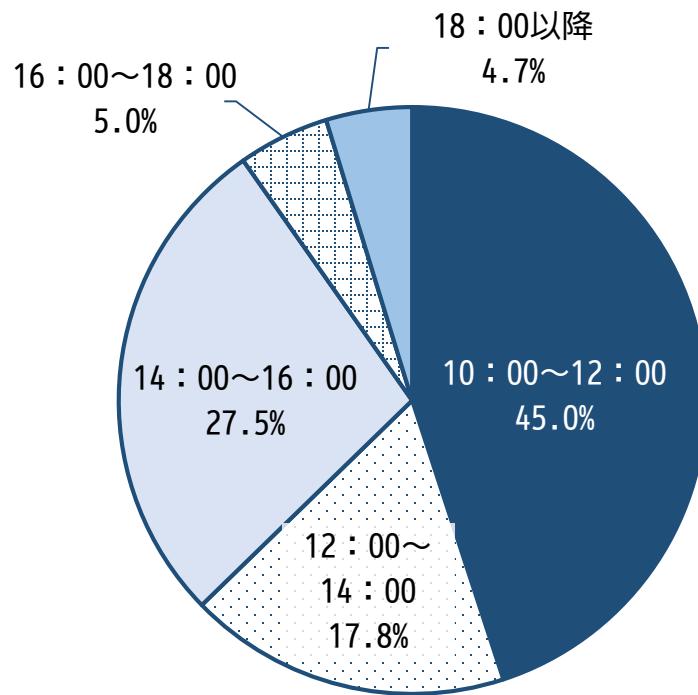
(回答者：338人)



- ① すべての世代において、1年あたりの来館頻度が「1回未満」と回答した人が最も多い
→ 毎年来館する人は少なく、何度も来館したくなる企画や展示が求められる
- ② 来館頻度が「年1回未満」と答えた割合が少なく、年に複数回来館する頻度が高いのは30代と40代だった
→ 子育て世代が来館していることが推察される

問4 来館したことが「ある」と回答した方は、その来館時間としてあてはまる時間帯を選んでください。
(複数回ある場合は最も訪れたことが多い時間帯を回答してください。) (1つ選択)

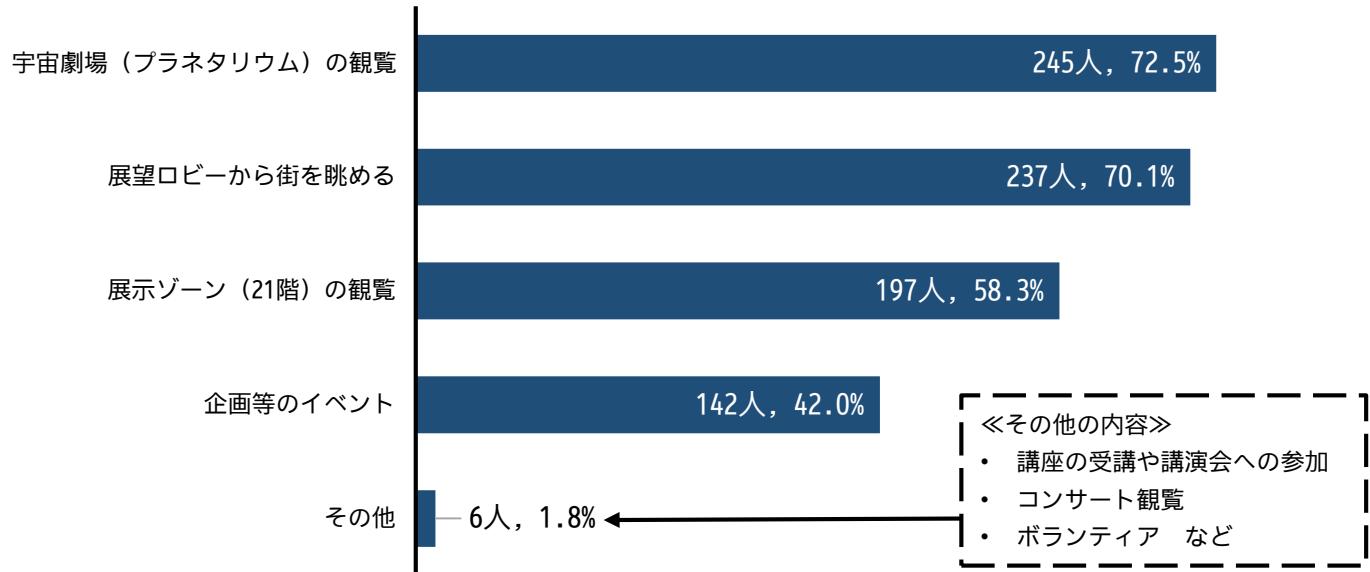
(回答者：338人)



- ① 30代以上では、「10:00～12:00」に来館する人が多く、次に「14:00～16:00」だった
→ 午前中に来館する、あるいは昼食の時間帯を確保したうえで午後に来館することが多い
- ② 20代以下では、「14:00～16:00」に来館する人が最も多く、他の世代とは異なる傾向を示した
→ 午前中は別の時間に充て、午後から施設に来館する人が多い

問5 来館したことが「ある」と回答した方は、その目的としてあてはまるものを全て選んでください。
(複数選択可)

(回答者：338人)



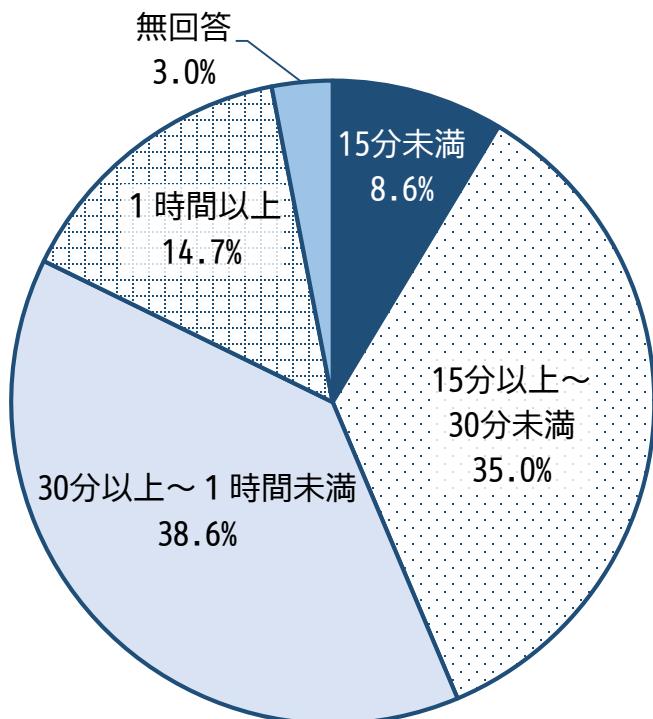
	宇宙劇場（プラネタリウム）の観覧	展望ロビーから街を眺める	展示ゾーン（21階）の観覧	企画等のイベント	その他
20代以下(n=15)	80.0%	66.7%	40.0%	33.3%	0.0%
30代(n=40)	72.5%	82.5%	52.5%	40.0%	0.0%
40代(n=83)	74.7%	69.9%	63.9%	48.2%	0.0%
50代(n=91)	70.3%	69.2%	60.4%	40.7%	5.5%
60代(n=67)	73.1%	65.7%	55.2%	46.3%	1.5%
70代(n=29)	69.0%	69.0%	62.1%	27.6%	0.0%
80代以上(n=13)	69.2%	69.2%	53.8%	38.5%	0.0%

■ 76～100% ▲ 51～75% △ 26～50% □ 0～25%

- ① 「宇宙劇場の観覧」、「展望ロビーからの街の眺め」を目的として来館する人が70%以上であり、「展示ゾーン」や「企画等のイベント」を目的とする人よりも多かった
→ 展示やイベントなどの充実を図ることの必要性が推察される
- ② 全ての年代において、来館目的は同様の傾向を示したが、特に「宇宙劇場の観覧」については、年代が若くなるにつれ高い値となる傾向が見られた
→ 20代以下の世代はプラネタリウムのような非日常空間への興味・関心が高い傾向がある

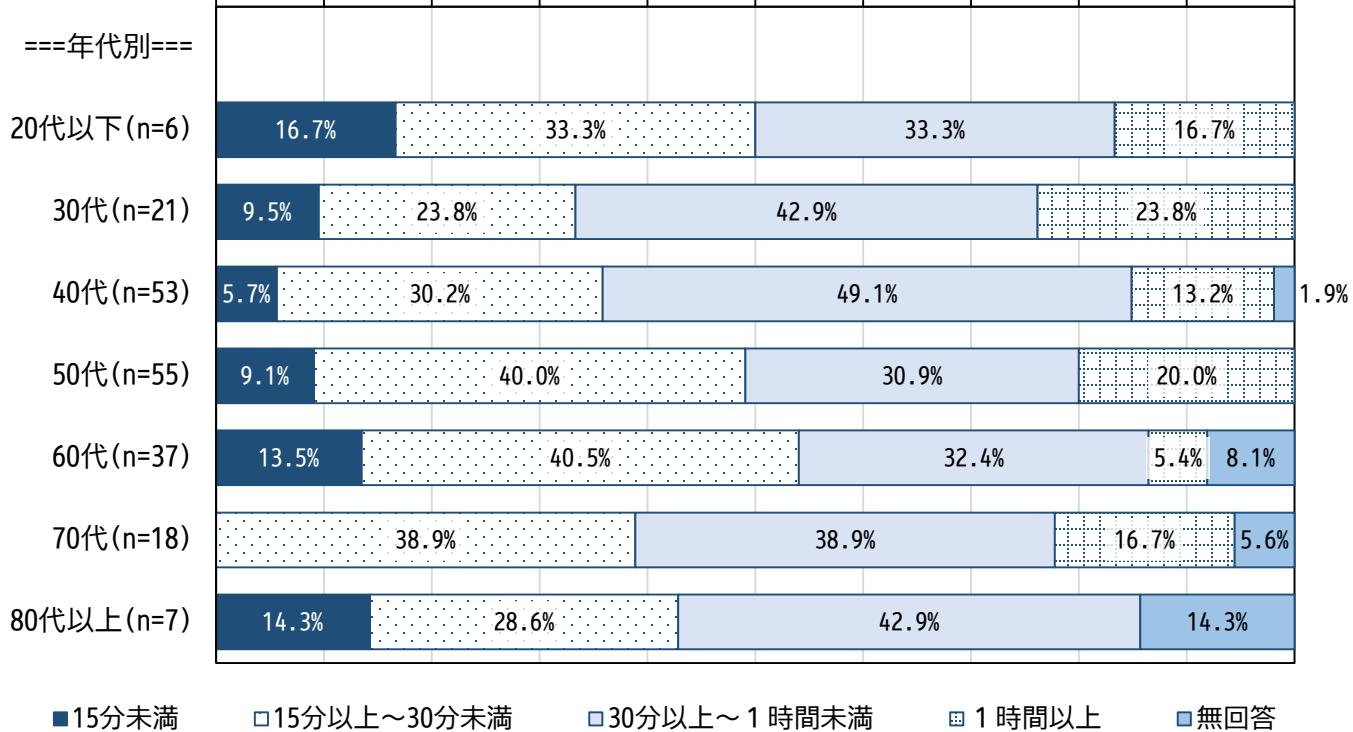
問5（続き）「展示ゾーン（21階）の観覧」と回答した方は、どのくらいの時間、展示ゾーンに滞在しましたか。

（回答者：197人）



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

====年代別=====

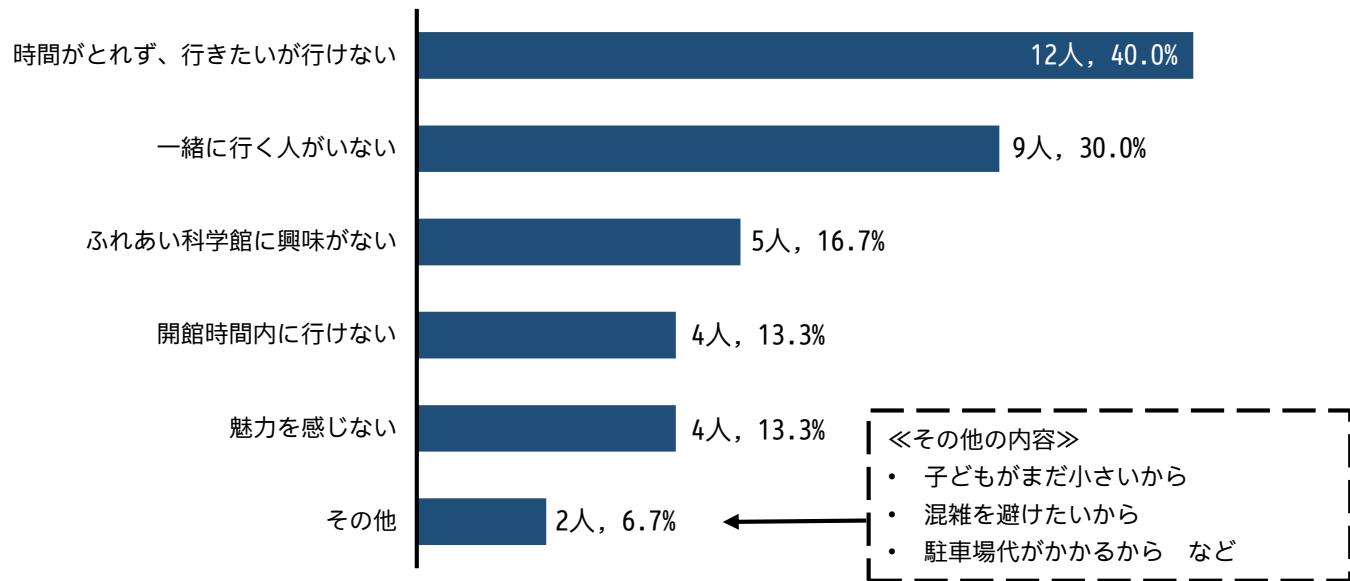


■15分未満 □15分以上～30分未満 □30分以上～1時間未満 ■1時間以上 □無回答

- ① 展示ゾーンに滞在する時間が1時間未満と回答した人が80%以上であった
→ 展示ゾーンに一定の時間観覧する展示やリピートしたい展示が少ないことが推察される
- ② 年代による大きな特徴や傾向は見られないが、30代から60代にかけて「30分未満」の割合が増えていく傾向にある（60代では54%が30分未満の滞在時間）
→ 大人が一定の時間滞在して楽しむことや学ぶことができる展示が少ないことが推察される

問6 来館したことが「ない」と回答した方は、その理由としてあてはまるものを全て選んでください。（複数選択可）

(回答者：30人)



	時間がとれず、行きたいが行けない	と一緒に行く人がいない	ふれあい科学館に興味がない	開館時間内に行けない	魅力を感じない	その他
40代(n=6)	50.0%	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
50代(n=8)	75.0%	25.0%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%
60代(n=10)	20.0%	30.0%	20.0%	20.0%	30.0%	10.0%
70代(n=4)	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%

■ 76~100%

□ 51~75%

□ 26~50%

□ 0~25%

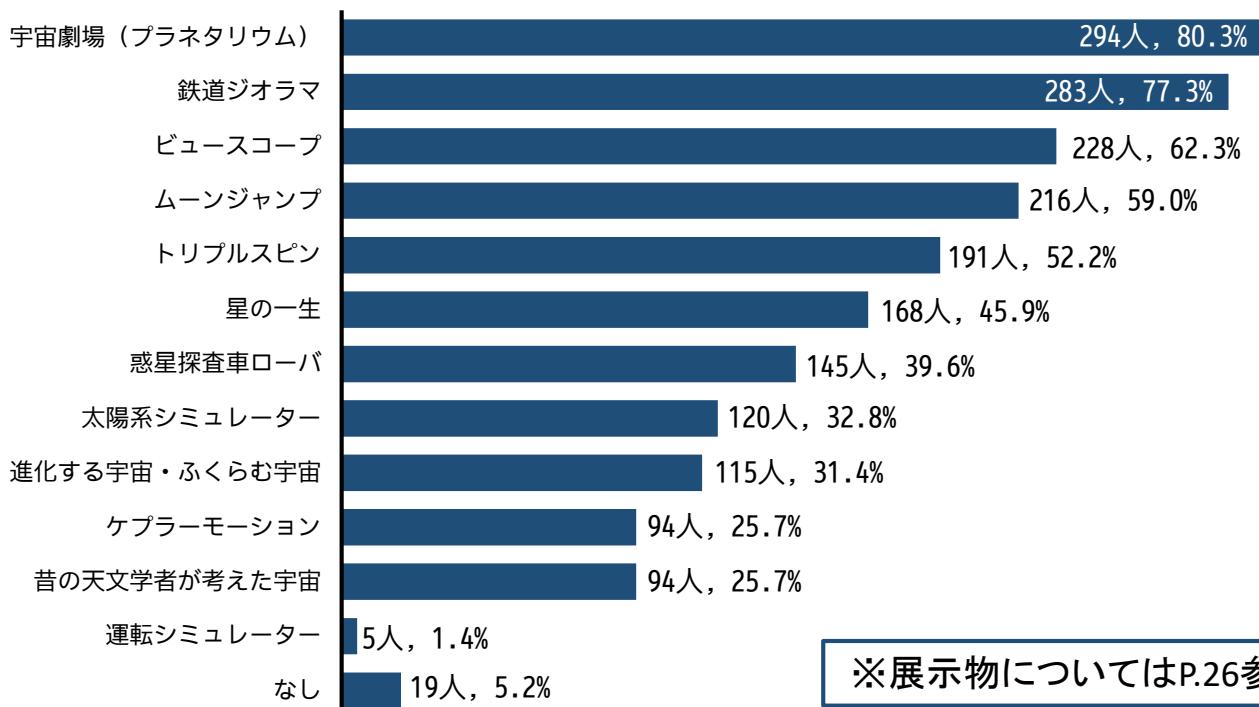
※回答者数が4人以上の結果を抜粋

- ① ふれあい科学館に来館したことがない理由として「時間が取れず、行きたいが行けない」を選択した人が40%、次いで「一緒に行く人がいない」を選択した人が30%だった
- ② 「40代～70代」において、「一緒に行く人がいない」を選択した人が多かった
→ 家族や学校などのコミュニティがある世代は来館しやすいが、それ以外の世代では来館のきっかけが少なく、1人で来館しにくいと考えられる

第2章 展示物について

問7 ふれあい科学館の展示物で利用した（聞いた）ことがあるものを選択してください。
 (複数選択可)

(回答者：366人)



*展示物についてはP.26参照

	宇宙劇場 (プラネタリウム)	鉄道ジオラマ	ビュースコープ	ムーンジャンプ	トリプルスピン	星の一生	惑星探査車ローバ	太陽系シミュレーター	進化する宇宙・ふくらむ宇宙	ケプラー・モーション	昔の天文学者が考えた宇宙	運転シミュレーター	なし
20代以下(n=17)	70.6%	64.7%	76.5%	47.1%	41.2%	70.6%	35.3%	29.4%	17.6%	17.6%	17.6%	5.9%	5.9%
30代(n=39)	87.2%	89.7%	76.9%	74.4%	74.4%	43.6%	43.6%	35.9%	38.5%	46.2%	35.9%	0.0%	0.0%
40代(n=88)	81.8%	80.7%	62.5%	63.6%	51.1%	44.3%	45.5%	29.5%	27.3%	34.1%	31.8%	2.3%	1.1%
50代(n=96)	77.1%	86.5%	68.8%	60.4%	56.3%	42.7%	47.9%	31.3%	32.3%	20.8%	18.8%	0.0%	4.2%
60代(n=78)	82.1%	70.5%	53.8%	57.7%	48.7%	52.6%	32.1%	41.0%	26.9%	20.5%	32.1%	1.3%	7.7%
70代(n=34)	79.4%	55.9%	38.2%	38.2%	32.4%	35.3%	17.6%	26.5%	41.2%	8.8%	8.8%	2.9%	14.7%
80代以上(n=14)	78.6%	64.3%	64.3%	50.0%	50.0%	42.9%	35.7%	28.6%	50.0%	28.6%	21.4%	0.0%	14.3%



76~100%



51~75%



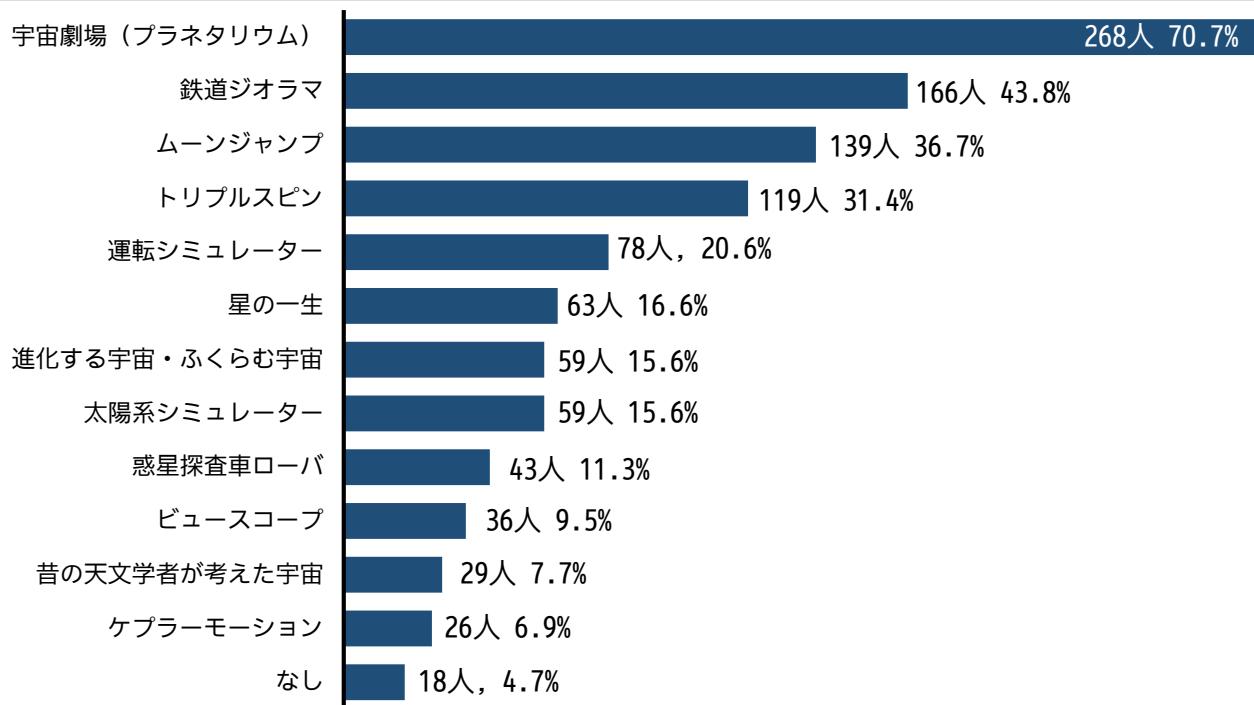
26~50%



0~25%

- ① ふれあい科学館を代表する「宇宙劇場」と展望ロビーの「鉄道ジオラマ」、展示ゾーンで人気の体験型展示物「ムーンジャンプ」と「トリプルスピン」は多くの人に認知されている
 → 名称と写真でイメージできる展示物や体験型の展示は広く利用されている
- ② 「太陽系シミュレーター」や「星の一生」、「昔の天文学者が考えた宇宙」などの鑑賞型の展示については、選択率が50%を下回っており、あまり認知されていない
 → 名称でイメージできない展示物や非体験型の展示は利用されにくい

問8 ふれあい科学館の展示物のうち、評価が高いもの（良いと思ったもの）を選んでください。
(複数選択可) (回答者：379人)



	宇宙劇場 (プラネタリウム)	鉄道ジオラマ	ムーンジャンプ	トリプルスピン	運転シミュレーター	星の一生	進化する宇宙・ふくらむ宇宙	太陽系シミュレーター	惑星探査車ローバ	ビュースコープ	昔の天文学者が考えた宇宙	ケプラー・モーション	なし
20代以下(n=22)	40.9%	27.3%	22.7%	27.3%	9.1%	9.1%	13.6%	9.1%	9.1%	9.1%	4.5%	13.6%	4.5%
30代(n=41)	75.6%	48.8%	31.7%	39.0%	19.5%	2.4%	4.9%	0.0%	4.9%	9.8%	4.9%	14.6%	2.4%
40代(n=90)	68.9%	46.7%	47.8%	36.7%	14.4%	8.9%	10.0%	7.8%	11.1%	6.7%	10.0%	5.6%	3.3%
50代(n=99)	76.8%	45.5%	42.4%	37.4%	26.3%	16.2%	13.1%	17.2%	12.1%	10.1%	7.1%	3.0%	1.0%
60代(n=78)	79.5%	44.9%	34.6%	28.2%	21.8%	26.9%	20.5%	24.4%	11.5%	11.5%	5.1%	9.0%	7.7%
70代(n=35)	60.0%	34.3%	20.0%	14.3%	25.7%	28.6%	34.3%	25.7%	14.3%	11.4%	11.4%	5.7%	17.1%
80代以上(n=14)	50.0%	42.9%	14.3%	0.0%	21.4%	35.7%	28.6%	35.7%	21.4%	7.1%	14.3%	0.0%	0.0%

■ 76～100% □ 51～75% □ 26～50% □ 0～25%

- ① 「宇宙劇場（プラネタリウム）」を選択した人が最も多く70.7%であり、次に選択数が多かった「鉄道ジオラマ」の43.8%と比較しても非常に高い割合となった
→ 宇宙劇場の評価は高く、高い満足度が得られている
- ② 「トリプルスピン」や「ムーンジャンプ」などの体験型展示は20代以下～50代は70代以上と比較して選択する割合が高いが、「進化する宇宙・ふくらむ宇宙」、「太陽系シミュレーター」、「星の一生」などの鑑賞型展示は70代以上で選択する割合が高くなった
→ 子どもや親世代にとって体験型の展示が人気があり、世代が高くなるにつれ鑑賞型の展示も支持される傾向がある

問8（続き） それらを選んだ（展示物のうち、評価が高いもの）理由を教えてください。（自由記述）

○宇宙劇場

- ・ 映像がきれい、立体的で迫力がある
- ・ 県内、市内においても貴重で希少性がある
- ・ 宇宙について学ぶことができる
- ・ 説明が分かりやすい
- ・ 日常から離れて癒される、感動できる
- ・ 様々な企画や多様なプログラムがあり、飽きない
- ・ 子どもから大人まで楽しむことができる
- ・ 落ち着いた雰囲気

○鉄道ジオラマ

- ・ 細かいところまで再現されている
- ・ 鉄道の歴史や史実を楽しめる
- ・ ジオラマと同じ景色を展望ロビーから眺めることができる

○ムーンジャンプ

- ・ 月の重力を実際に体験できる
- ・ 子どもが喜ぶから
- ・ 郡山市内で他に体験できるところはないから

○運転シミュレーター

- ・ 他にはない体験ができる
- ・ 運転が楽しい
- ・ 実際に機関車を運転している気持ちになれる

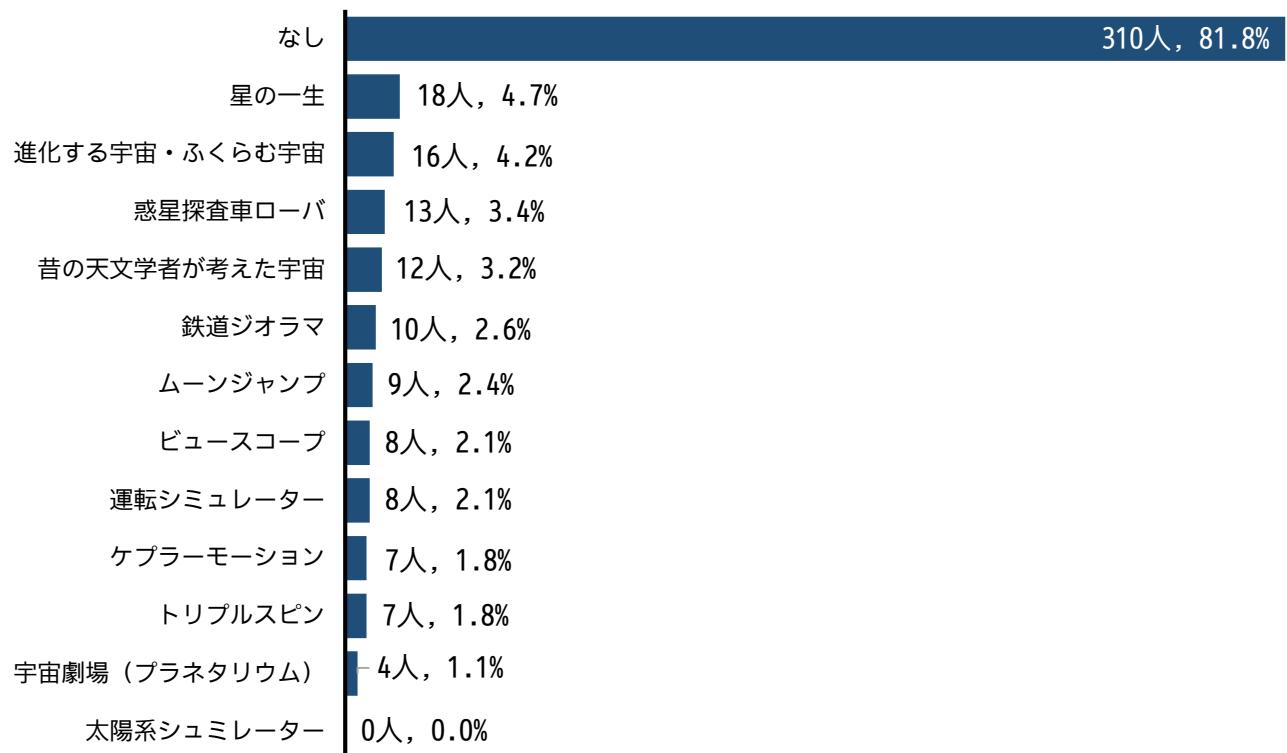
○太陽系シミュレーター

- ・ まるで太陽系の中を飛行しているようで楽しい
- ・ ブラックホールへの進入角度で様々な軌跡をたどることがよくわかる

問9 ふれあい科学館の展示物のうち、評価が低いもの（良くないと思ったもの）を選んでください。

(複数選択可)

(回答者：379人)



選んだ理由（抜粋）

○星の一生

- 見て説明を聞くだけだから

○進化する宇宙・ふくらむ宇宙

- おもしろくない
- あまり印象がない
- ネットを張っただけだったように思う

○惑星探査車ローバ

- 関連性がよくわからない
- 操作が難しい

○昔の天文学者が考えた宇宙

- 興味がないと見ようと思わない
- 面白くなかった
- 一回見れば十分
- 中身が薄い

○鉄道ジオラマ

- 宇宙とは少しジャンルが違う
- 目新しさを感じない

○トリプルスピン

- 年齢制限や身長制限があるから
- 人力で動かすのが大変そう
- 高い叫び声を出す人がうるさい

○ムーンジャンプ

- 年齢制限や身長制限があるから

○ビュースコープ

- 必要性を感じない
- 見にくい

○運転シミュレーター

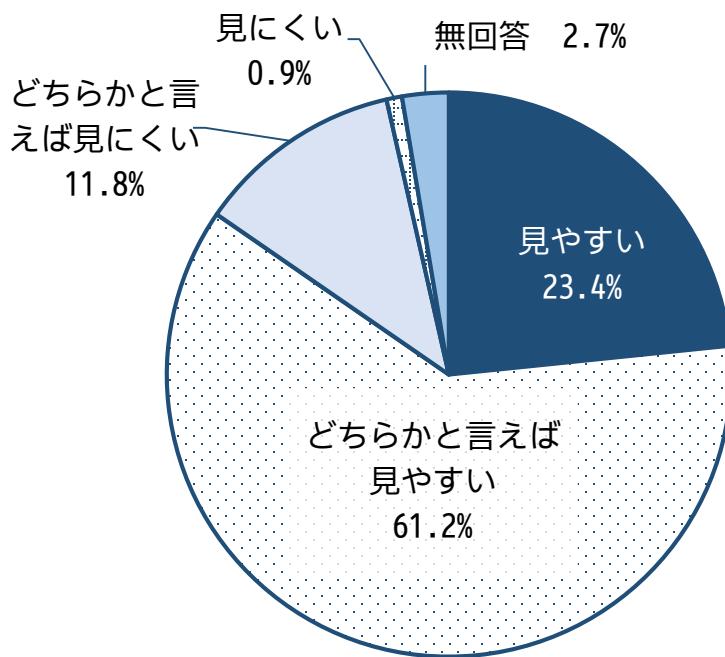
- かなりの期間リニューアルされていない、古すぎる
- 映像が良くない

① 「なし」を選択した人の割合が最も多く、全体の81.8%、すべての世代においても60%以上であった
→ 一定程度の満足度は得られているものと推察できる

② 選択された展示物のうち、最も評価が低かったのは、「星の一生」、次いで「進化する宇宙・ふくらむ宇宙」であった
→ 体験型の展示に比べて、鑑賞型の展示は評価が低く印象に残りにくい傾向がある

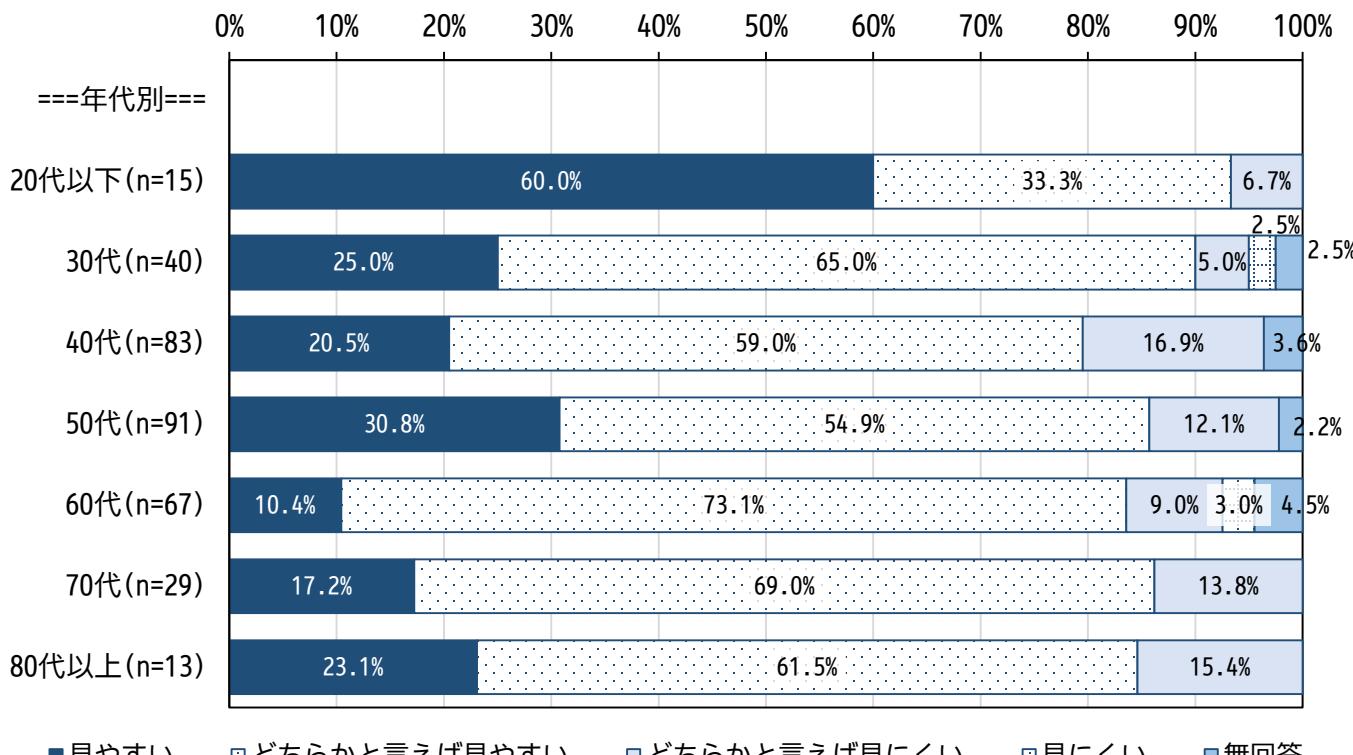
問10 来館したことが「ある」と回答した方に伺います。展示ゾーン（21階）の展示物の配置や動線についてはいかがでしたか。（1つ選択）

(回答者：338人)

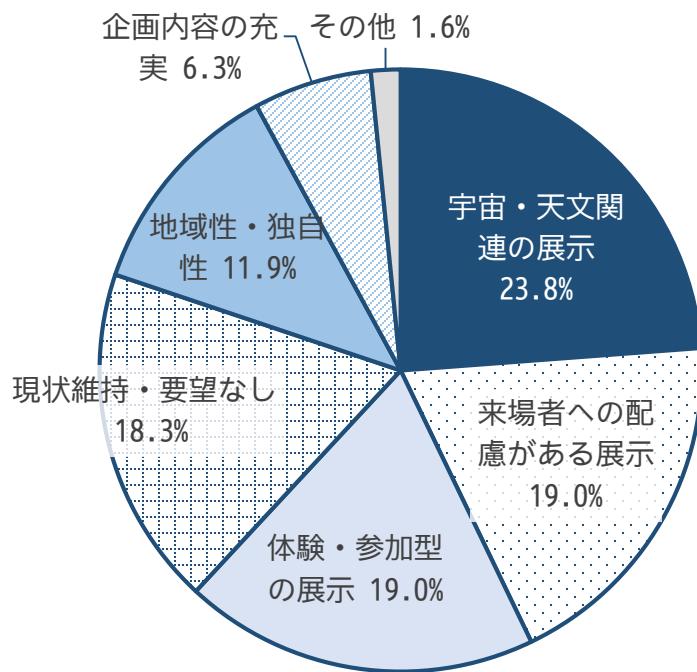


「どちらかと言えば見にくい」、「見にくい」と回答した理由

- ・ 展示ゾーンの展示物に入りにくい（入りやすいようにポップを工夫すると良い）
- ・ 動線が合わない・通路幅が狭い
- ・ 通路が狭い、開放感がない（窮屈）
- ・ コンセプトに統一性が感じられない など



「どちらかと言えば見やすい」と答えた人の割合が最も多く61.2%であった
→ 高い満足度ではなく、改善の必要性があると推察される

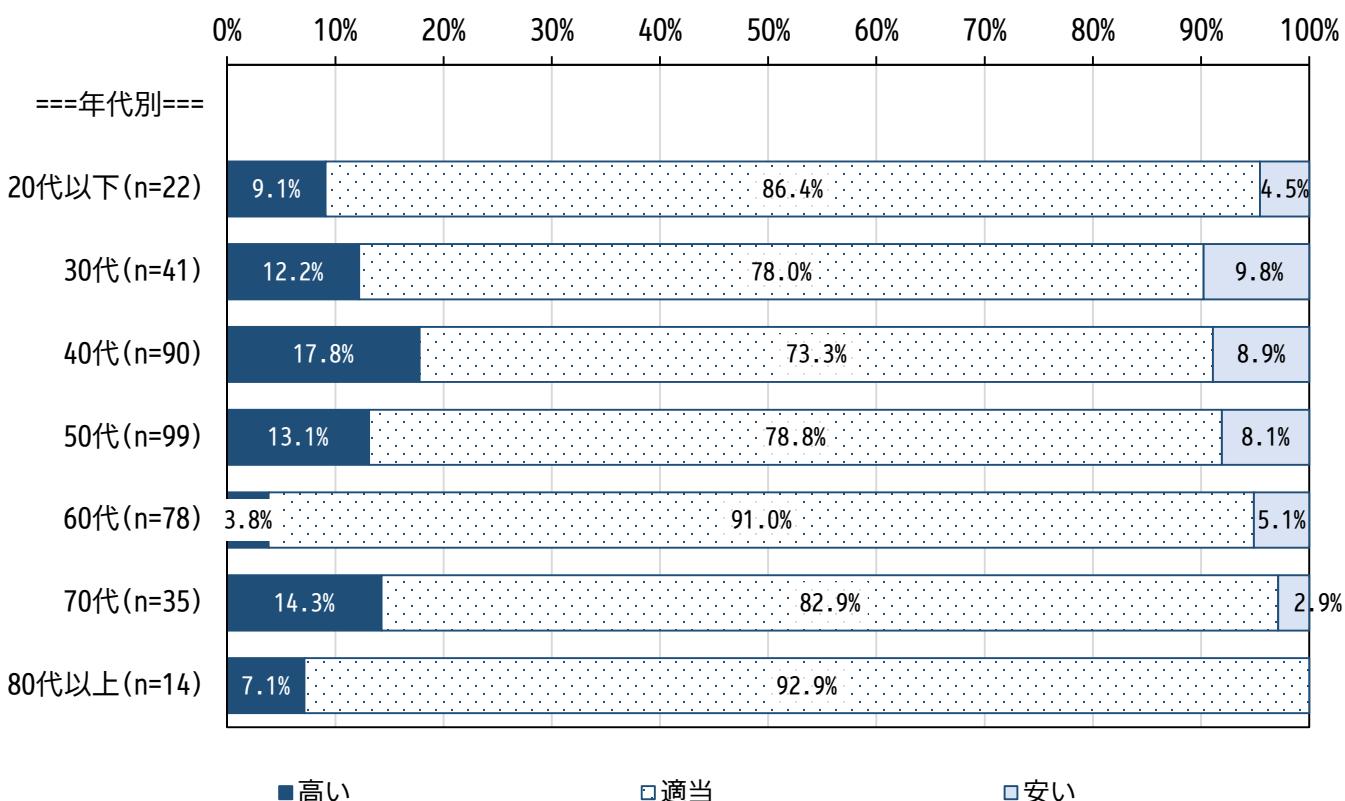
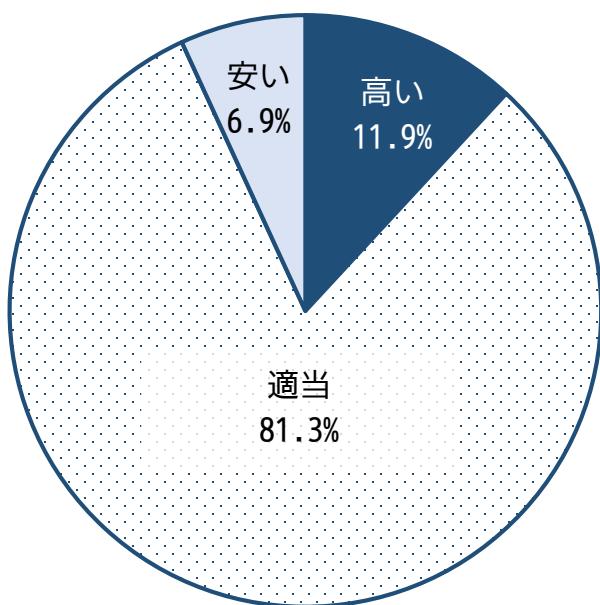


- ① 回答結果を分類すると「宇宙・天文関連の展示」について要望が多く、最新の情報を反映する声や体験できる展示を求める声が多かった
→ 宇宙・天文関連の展示の更なる充実と最新の動向を知ることができる展示が必要
- ② 展示に「地域性・独自性」について記載した人が11.9%であり、市の特色や有する資源（自然、人、モノなど）に焦点をあてるに対する意見が多かった
→ 他にはない郡山らしさのある展示についても求められている

第3章 入館のしやすさについて

問12 展示ゾーンの入場料は適当だと思いますか。 (一般400円、高校生・大学生等300円、小学生・中学生200円、幼児・65歳以上無料) (1つ選択)

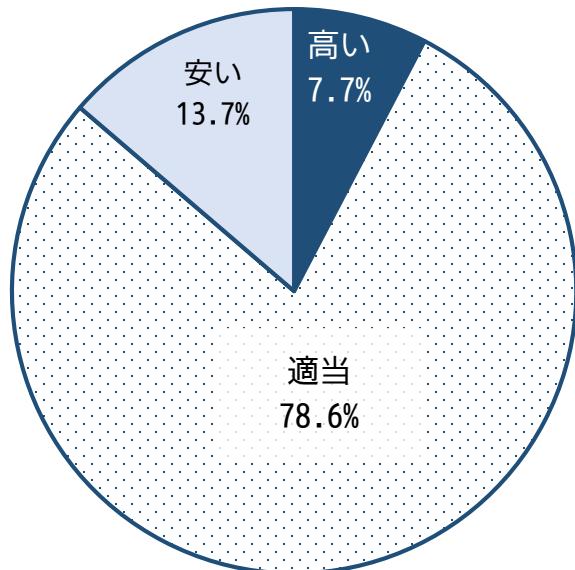
(回答者：379人)



現在の展示ゾーンの入場料が「適当」と答えた人が81.3%と最も多かった
→ 入場料の価格は理解が得られている

問13 宇宙劇場の入場料は適当だと思いますか。 (一般400円、高校生・大学生等300円、小学生・中学生200円、幼児・65歳以上100円) (1つ選択)

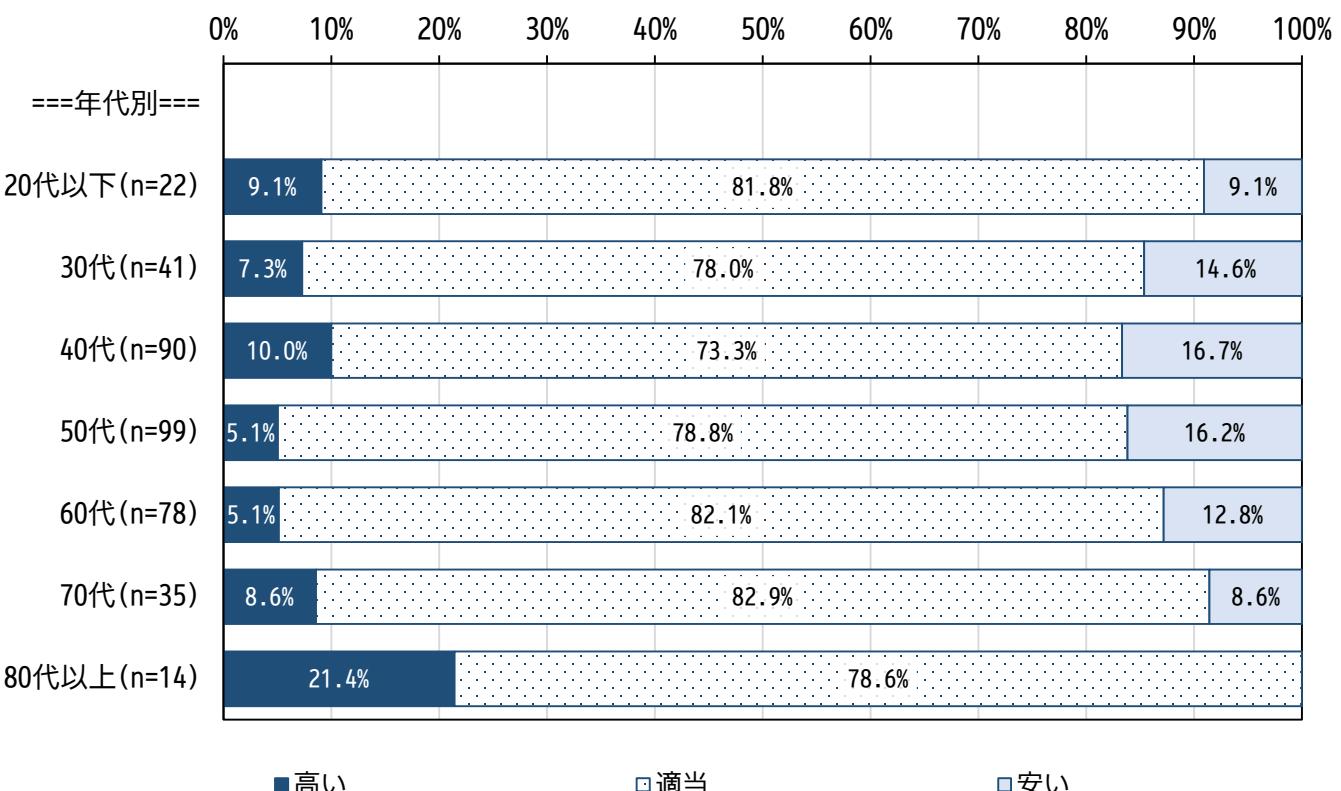
(回答者: 379人)



問8 展示物のうち、評価が高いもの
(宇宙劇場 抜粋)

20代以下(n=22)	40.9%
30代(n=41)	75.6%
40代(n=90)	68.9%
50代(n=99)	76.8%
60代(n=78)	79.5%
70代(n=35)	60.0%
80代以上(n=14)	50.0%

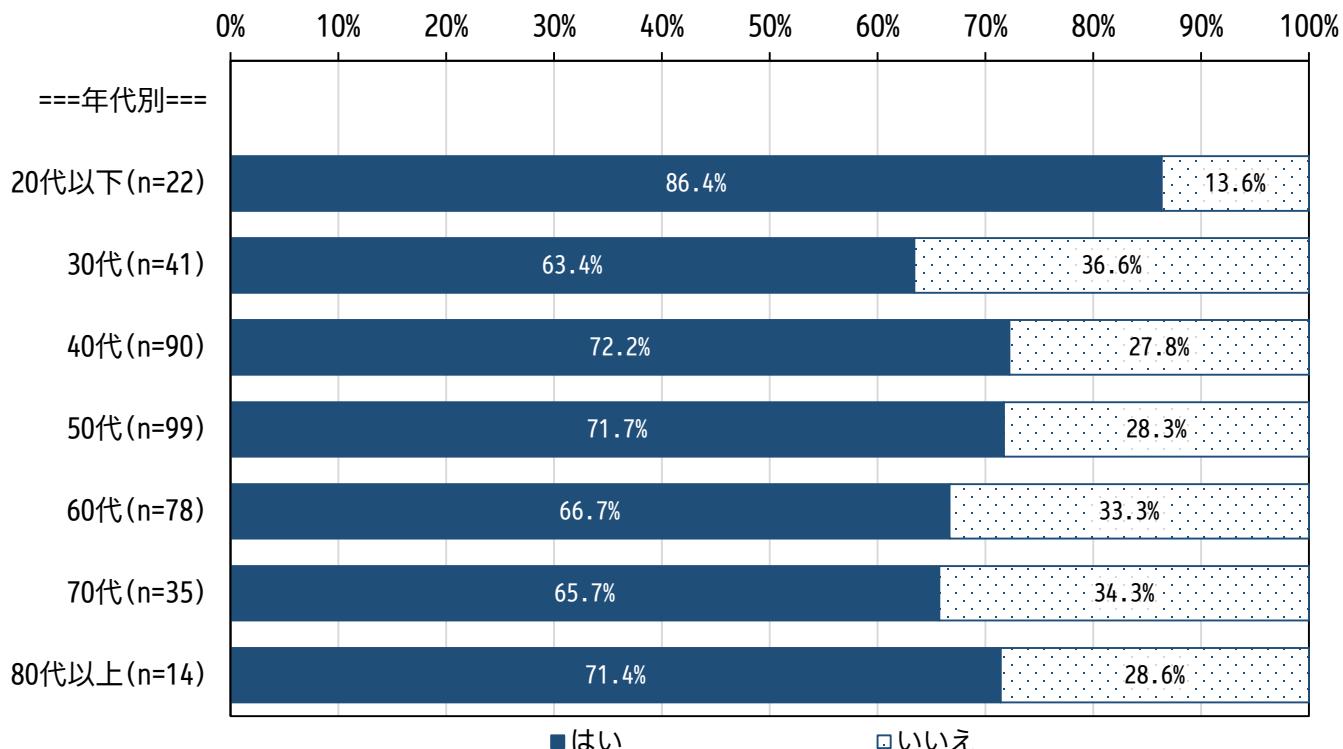
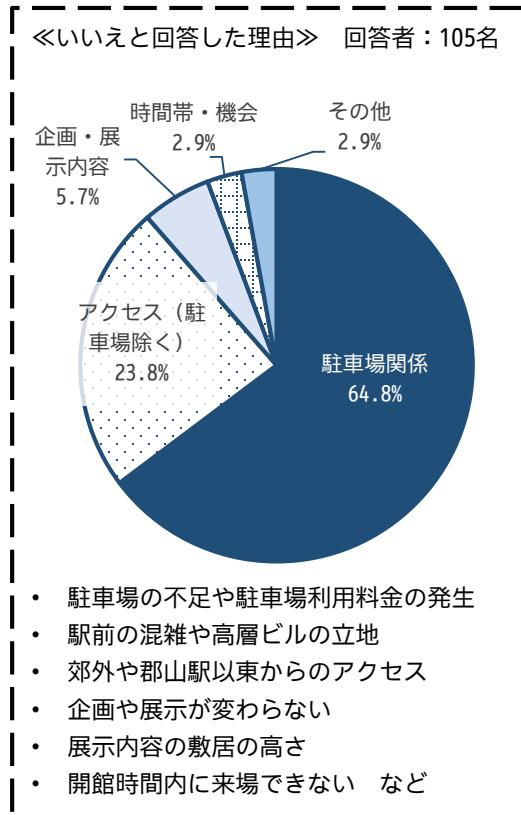
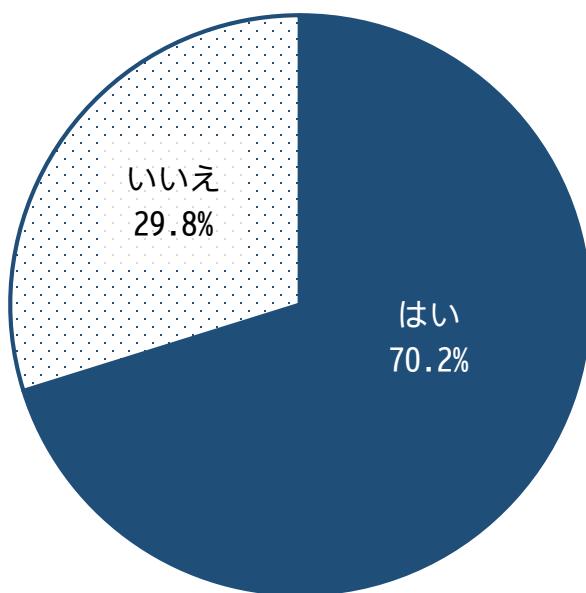
■ 76~100% □ 51~75% □ 26~50%



- ① 展示ゾーンと同様に「適当」と答えた人の割合が最も多く78.6%だった
→ 入場料の価格は理解が得られている
- ② 「高い」と回答した人よりも「安い」と回答した人が多かった
→ 宇宙劇場は評価の高い展示であり(問8)、提供しているサービスが入場料金と比較し、
安く感じる人が多いと推察される

問14 ふれあい科学館へは来館しやすいと思いますか。 (1つ選択)

(回答者：379人)



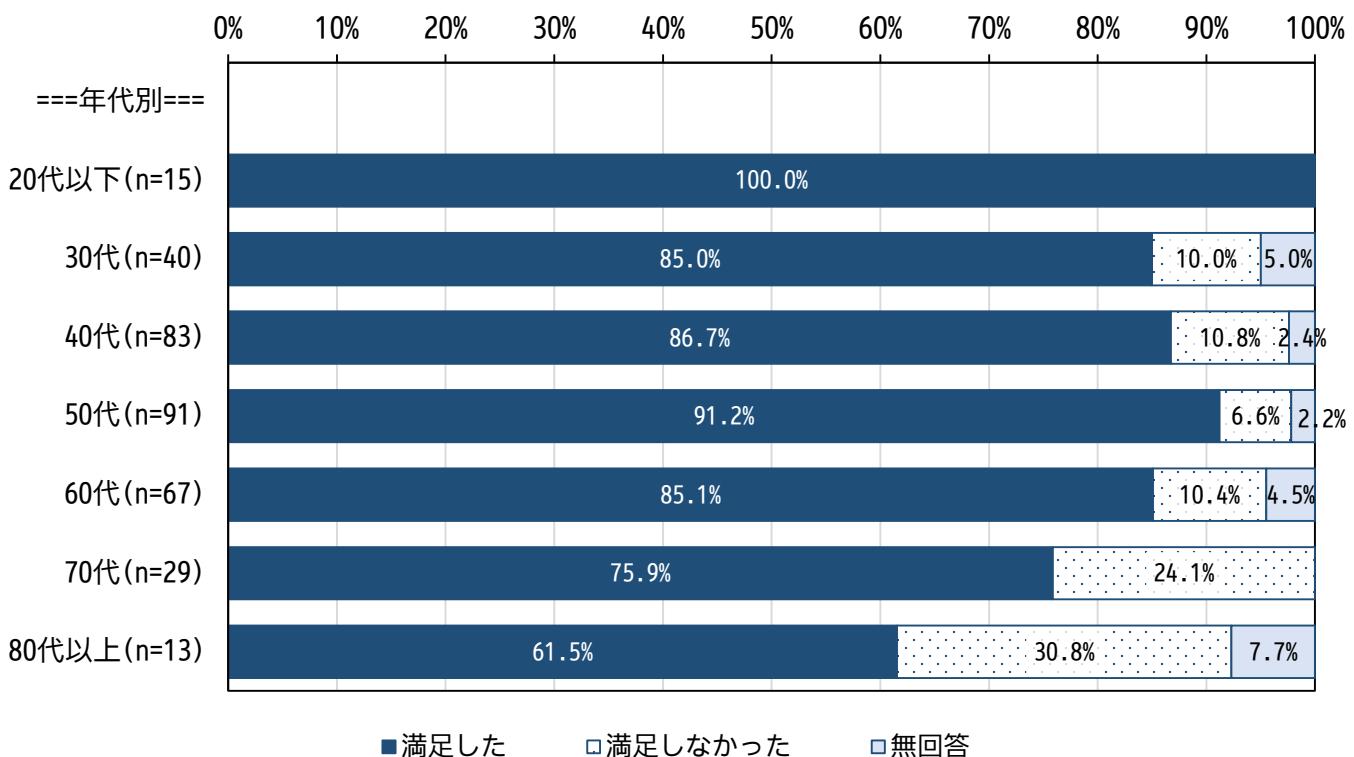
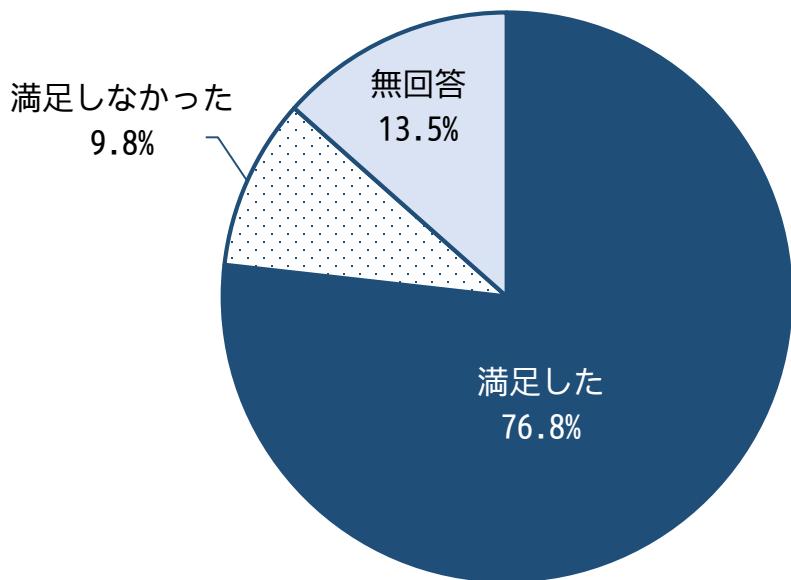
- ① 「はい（来館しやすい）」と回答した割合は20代以下で最も多い、86.4%となった
→ 親と来館したり、公共交通機関を利用して移動することが多い世代のため、アクセスしやすいと感じていると推察される
- ② 「いいえ」と回答した理由として最も多いのが「駐車場の不足や駐車料金が高い」、次いで「駅前の混雑、ビルの高層階で足が遠のく」との意見
→ 展示や企画以外にも来館することの障壁となっている可能性がある

第4章 満足度について

問15 ふれあい科学館に来館したことがある方は、来館して満足できたか教えてください。

(1つ選択)

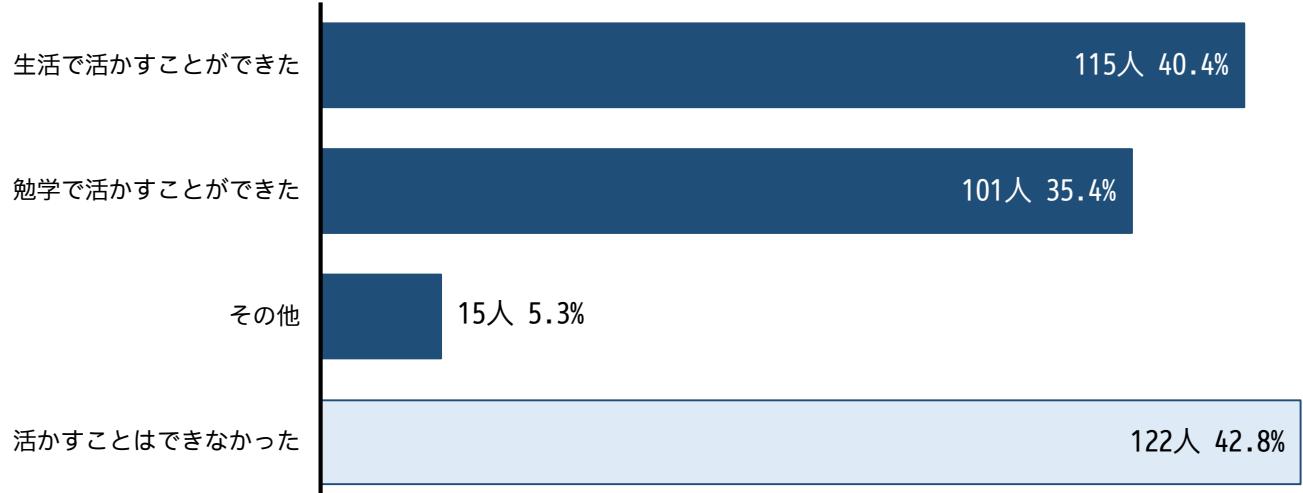
(回答対象者：338人)



- ① 来館したことがある人のうち、「満足した」と回答した人は76.8%だった
→ 概ね一定程度の満足度がえられているものと推察される
- ② 60代以下では80%以上の人人が「満足した」と回答したが、70代では75.9%、80代では61.5%にとどまった
→ 70代、80代の方にも満足いただける展示内容を検討する必要がある

問16 ふれあい科学館に来館したことがある方は、ふれあい科学館で知った（学んだ）内容を生活の中で活かす場面がありましたか。（複数選択可）

(回答者：286人)



	生活で活かすことができた	勉学で活かすことができた	活かすことはできなかった	その他
20代以下(n=8)	25.0%	100.0%	75.0%	0.0%
30代以下(n=37)	35.1%	29.7%	45.9%	2.7%
40代以下(n=71)	38.0%	38.0%	46.5%	1.4%
50代以下(n=80)	32.5%	37.5%	41.3%	3.8%
60代以下(n=55)	49.1%	29.1%	36.4%	12.7%
70代以下(n=23)	60.9%	30.4%	43.5%	4.3%
80代以上(n=12)	50.0%	16.7%	25.0%	16.7%

■ 76~100% ■ 51~75% ■ 26~50% ■ 0~25%

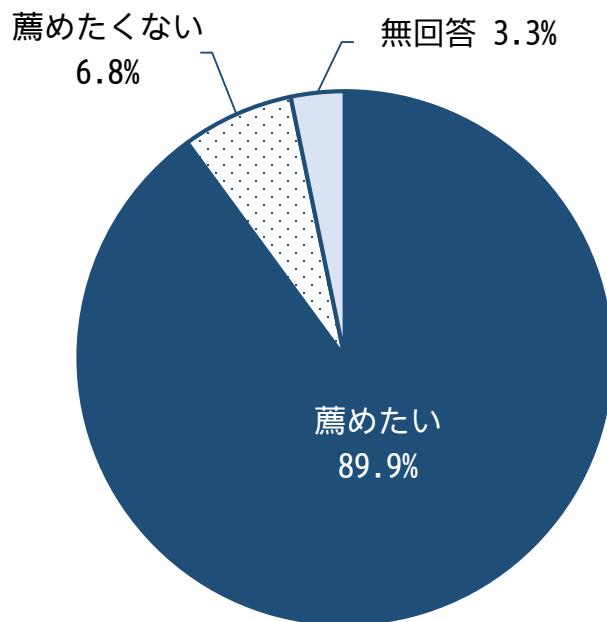
«他の内容やご意見»

- ・ 空を見上げて星や宇宙を意識するようになった
- ・ 天体に 관심が持て、沢山の所に足を運ぶ一歩になった
- ・ 生活や勉学に活かすためのものではつまらない
- ・ 子どもと楽しく体験できただけで満足した

- ふれあい科学館の展示のうち、「生活の中で活かすことができた」を選択した人は40.4%、「勉学で活かすことができた」を選択した人は35.4%であった
→ 展示物が生活や勉学に活かす内容でない、あるいは、印象に残りにくい内容の可能性がある
- 学習世代である20代以下で、「活かすことはできなかった」を選択した人は75.0%となっており、20代以下のニーズが満たせていない
→ 観光施設としての特性だけでなく、宇宙科学の知識や教養を高めるための展示が必要

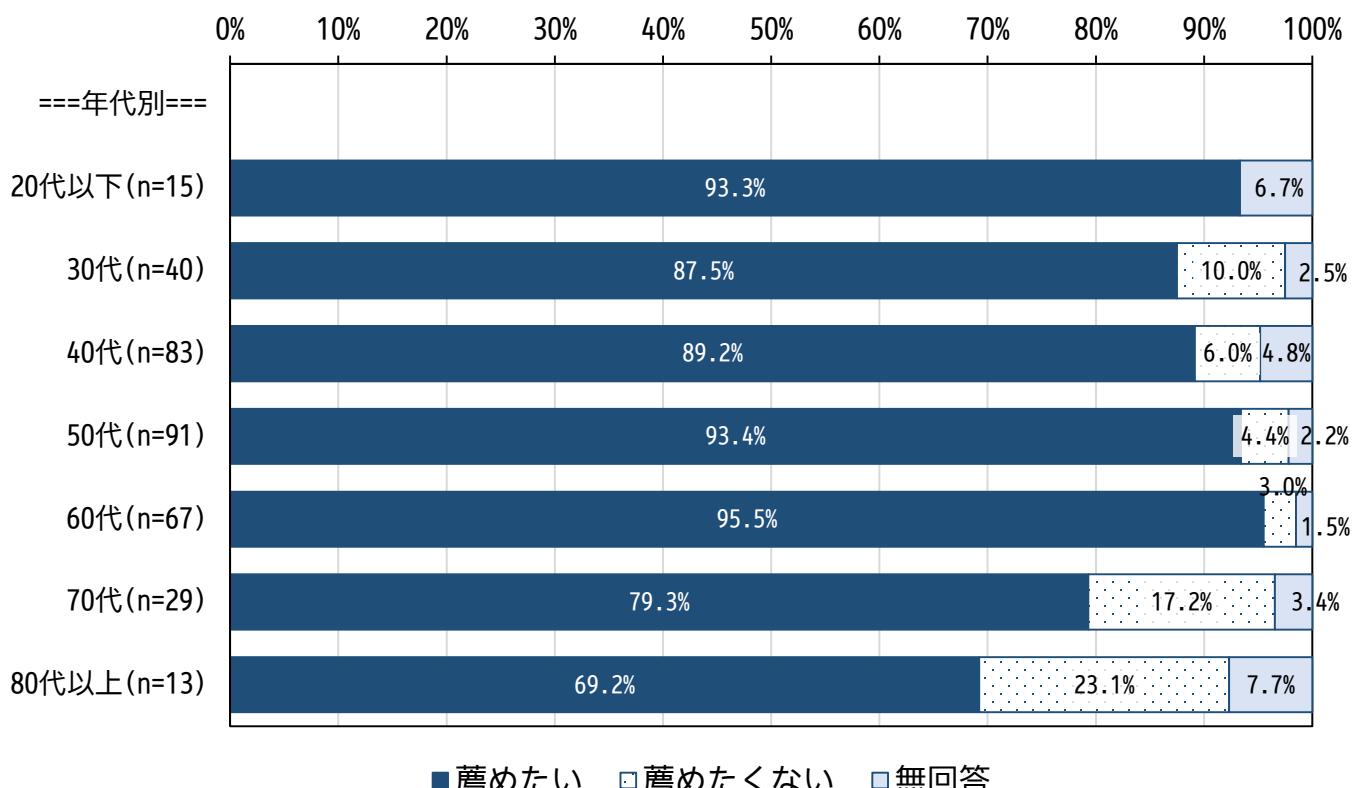
問17 ふれあい科学館を家族や友人、知人に薦めたいと思いますか。

(回答対象者：338人)



「薦めたくないと回答した理由」回答者：18名

- 自分が満足するまで催し物を含めて体感していないため
- 展示内容が特別展以外変わらないので、一回行ったら満足する
- 面白いと感じない、体験できる展示が少ない
- 予備知識が無い状態で見ても理解しにくい
- 展示やプラネタリウムは珍しいものではなく、駐車料金を払って見たいと思わない
- 大人向くなっているいない
- ほとんどの市民はすでに利用していると思うので、薦める必要がない など

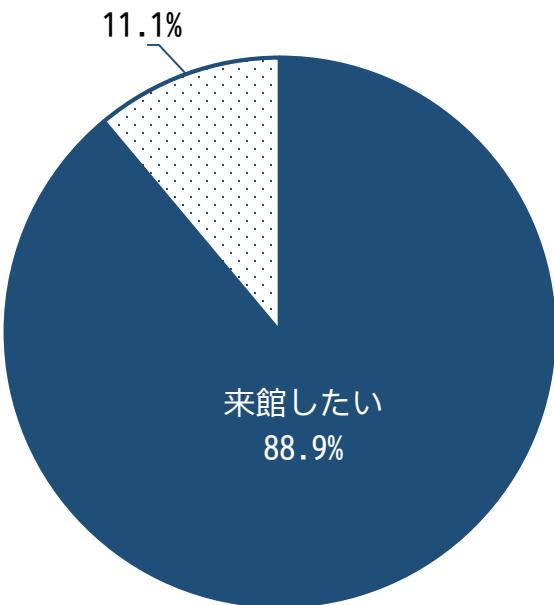


- ① 89.9%の人がふれあい科学館を「薦めたい」と回答した
→ 他者に薦めたいと思われる施設として認知されている
- ② 6.8%の人が「薦めたくない」と回答し、その理由の多くは「展示内容に満足していない、展示内容に変化がない」といった理由であった
→ 何度来館しても楽しめるような企画や変化のある展示が求められている

問18 ふれあい科学館に再度来館したいと思いますか。
(来館したことがない場合は来館したいと思いますか。) (1つ選択)

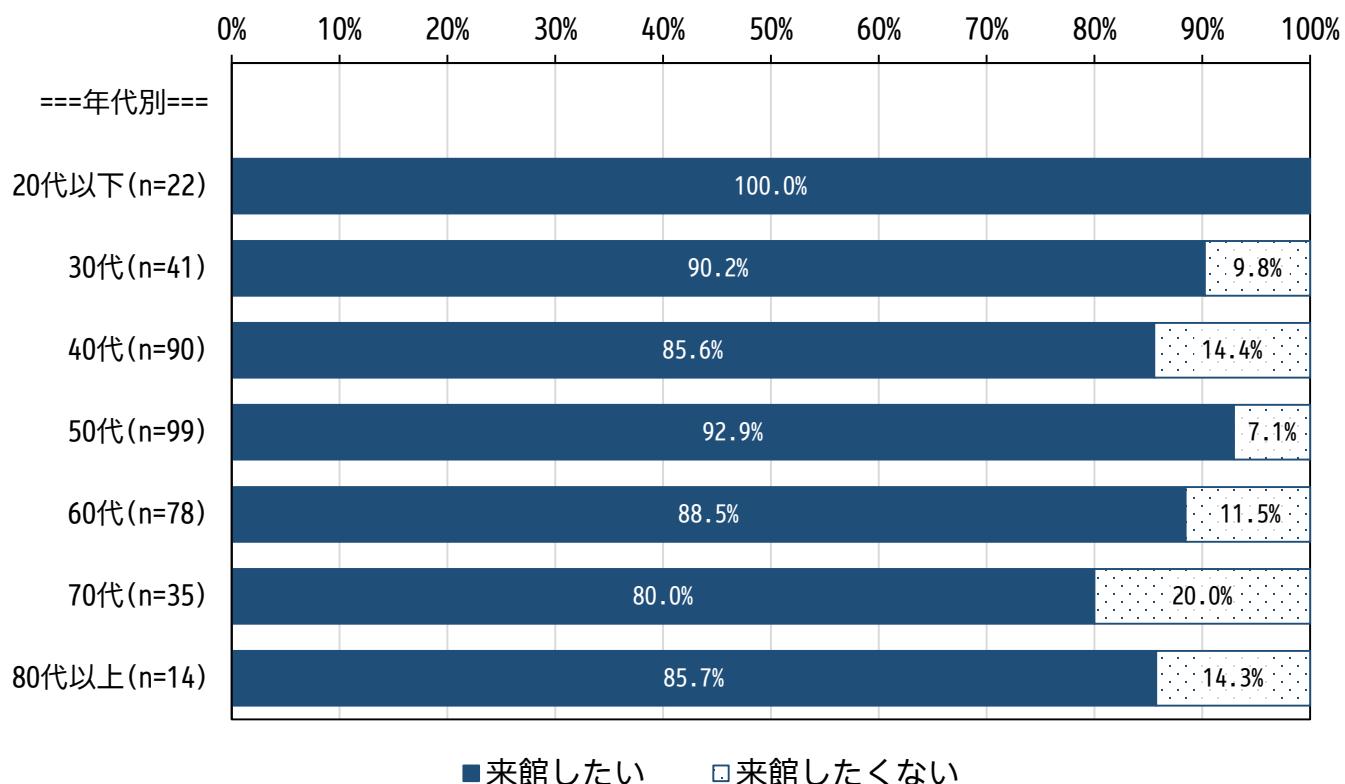
(回答者：379人)

来館したくない



		(単位：人)	
	ふれあい科学館を知っている	再度来館したい	304
来館したことある	338	再度来館したくない	34
来館したことない	30	来館してみたい	23
無回答	1	来館したくない	7
ふれあい科学館を知らない	10	来館したい	9
		来館したくない	1

問1、2、18の人数まとめ

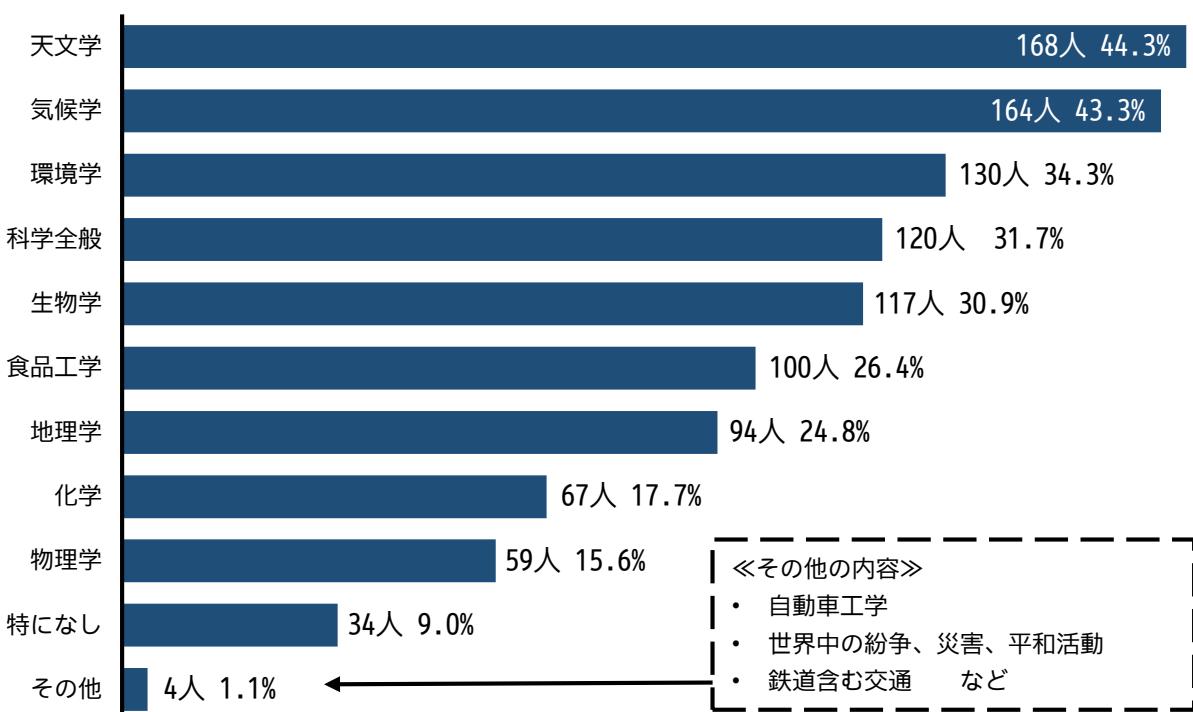


■来館したい □来館したくない

- ① 来館したことがある人（338人）のうち、89.9%の人（304人）が再度「来館したい」と回答した
→ 来館者の満足を得られている結果と推察される
- ② 来館したことがない人（30人）のうち、「来館したい」と答えた人は76.7%だった
→ 新規利用者が来館したいと思う企画・展示の制作が必要

問19 興味のある科学分野は何ですか。 (複数選択可)

(回答者：379人)



	天文学	気候学	環境学	科学全般	生物学	食品工学	地理学	化学	物理学	特になし	その他
20代以下(n=22)	54.5%	22.7%	22.7%	13.6%	31.8%	27.3%	18.2%	18.2%	9.1%	4.5%	0.0%
30代(n=41)	48.8%	41.5%	31.7%	41.5%	36.6%	26.8%	26.8%	24.4%	14.6%	7.3%	2.4%
40代(n=90)	53.3%	42.2%	32.2%	31.1%	34.4%	31.1%	23.3%	20.0%	16.7%	6.7%	0.0%
50代(n=99)	43.4%	44.4%	29.3%	32.3%	28.3%	26.3%	24.2%	15.2%	16.2%	6.1%	1.0%
60代(n=78)	34.6%	43.6%	44.9%	28.2%	33.3%	23.1%	28.2%	17.9%	16.7%	14.1%	1.3%
70代(n=35)	37.1%	48.6%	40.0%	42.9%	20.0%	20.0%	25.7%	14.3%	11.4%	17.1%	2.9%
80代以上(n=14)	35.7%	64.3%	35.7%	21.4%	21.4%	28.6%	21.4%	7.1%	21.4%	7.1%	0.0%

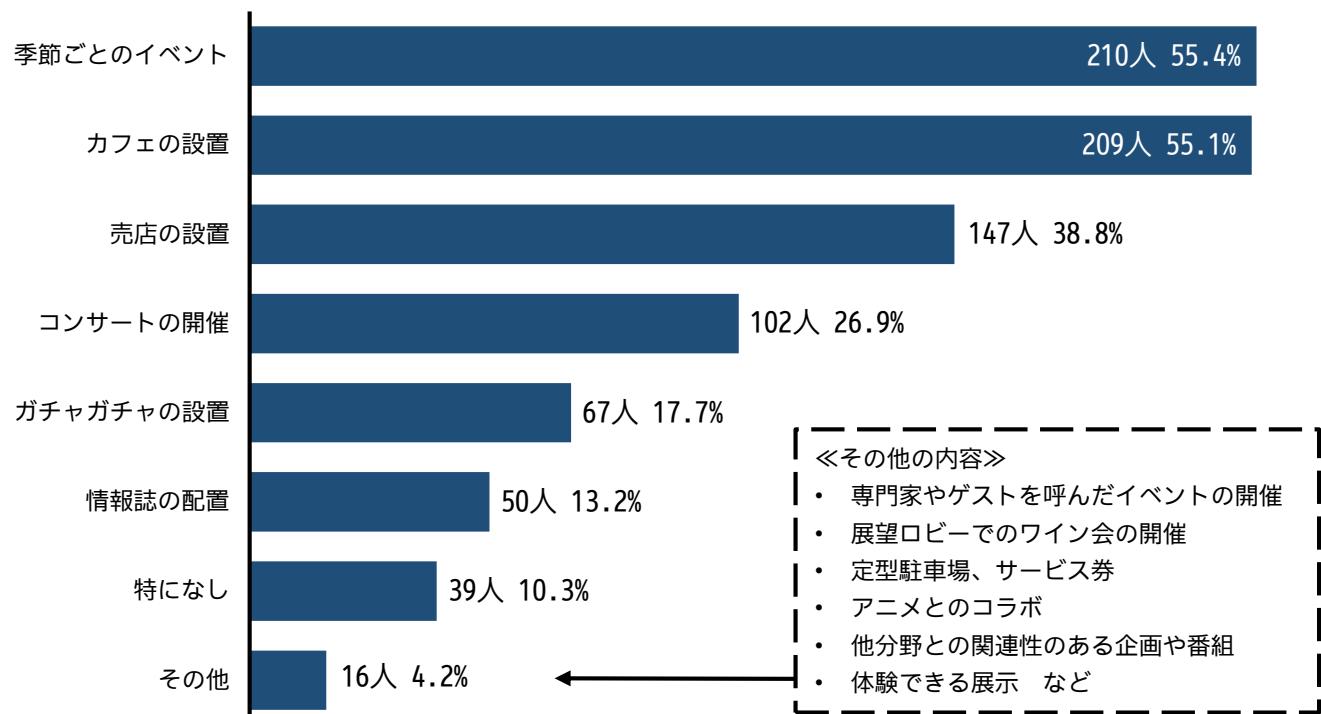
■ 51～75% □ 26～50% □ 0～25%

- ① 最も多く人が選択したのが「天文学」で44.3%、ほぼ同数で「気候学」が43.3%、次いで「環境学」で34.3%となった。一方で化学や物理学などを選択する人は20%以下となった
→ 実生活を想起させやすい分野に興味を示す人が多い
- ② 全ての世代において、「天文学」を選択する人が多かったが、年代が上がるにつれ、割合が減少した
→ ふれあい科学館が天文・宇宙系をメインに展示していることと、利用満足度が高齢者で低くなることに関係性があることが推察される

問20 ふれあい科学館に望むものにはありますか。あてはまるものを全て選んでください。

(複数選択可)

(回答者：379人)



	季節ごとのイベント	カフェの設置	売店の設置	コンサートの開催	ガチャガチャの設置	情報誌の配置	特になし	その他
20代以下	40.9%	59.1%	31.8%	4.5%	27.3%	4.5%	22.7%	0.0%
30代	56.1%	70.7%	53.7%	22.0%	29.3%	9.8%	2.4%	2.4%
40代	61.1%	55.6%	42.2%	26.7%	23.3%	13.3%	4.4%	3.3%
50代	52.5%	62.6%	40.4%	25.3%	19.2%	18.2%	7.1%	5.1%
60代	55.1%	50.0%	34.6%	35.9%	10.3%	12.8%	12.8%	7.7%
70代	60.0%	37.1%	34.3%	34.3%	2.9%	11.4%	20.0%	0.0%
80代以上	50.0%	21.4%	7.1%	21.4%	0.0%	7.1%	35.7%	7.1%

■ 51~75%

□ 26~50%

□ 0~25%

- 「季節ごとのイベント」を選択した人が55.4%、「カフェの設置」を選択した人が55.1%と最も高い数値となった。
→ 何度も足を運べるような企画・展示や展望ロビーで楽しみたいと考える人が多い
- 全ての世代で「情報誌の配置」を選択した人は少なかった(20%以下)。また、「ガチャガチャの設置」は、50代以上では20%未満となり、年代が高くなるにつれ、選択した人は少なかった
→ ガチャガチャの設置は30代以下の世代には支持されているが、売店の設置の方が支持を集めやすい世代によってニーズが異なるため、施設としてターゲットとすべき世代の検討を行うことが必要

<展示について>

展示内容が古く魅力を感じない
展示物が難しく感じるため、子どもと行くとすぐに見終わってしまう
何回行っても楽しめるような仕掛け展示がほしい
体験できるものを増やしてほしい
展示が当時のままだったり、アップデートされていないのが残念

<企画内容について>

季節で変わる展示や催しがあると良い
季節のイベントに限らず、落語や漫才など多様な催しがあると良い
宇宙について最新の情報が常に更新されると良い
県民の日に無料になると良い
当日参加型のイベントやワークショップがあると良い
日常の生活に結び付くような学びが欲しい
高層階からのコンサートは素晴らしいと思う
観望会をもっと広いエリアで実施してほしい
アニメとのコラボを実施してほしい

<プラネタリウムについて>

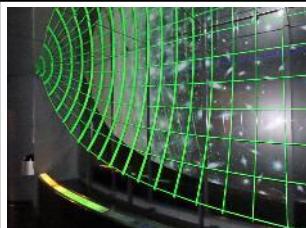
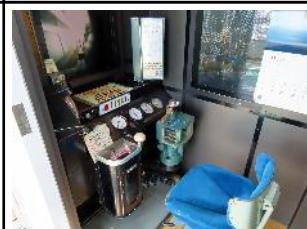
夜間にも放映してほしい
今後も絶対に無くさないで欲しい
東京にあるように寝ながら見れるプラネタリウムだと良い
プログラムが工夫されている
大人向けの音楽番組は同じで飽きてしまう

<駐車場について>

高い駐車場料金を払ってまで見ようとは思わない
近くに駐車場がないので足が遠のいてしまう
入場料が安くても駐車料金が発生するので行きづらい
入場券で駐車料金が割引される制度を希望
入場時に1~2時間分くらいの駐車場無料券を配ってほしい
わざわざバスで行くほどのものではない

<売店・カフェ・販売などについて>

売店があるとよい
5階のレストランが少なくなっているのでカフェなどがあると良い
展望ロビーのカフェなら多少値段が高くとも訪れる人が多くなると思う
郡山市オリジナルのガチャガチャがあつたら楽しい
子どもは喉が渴くと我慢できないので自動販売機が欲しい
郡山を一望できる展望ロビーで景色を眺めながらおいしいランチを食べたい
売店やカフェがあると休憩・移動の面で助かる

<h3>進化する宇宙・ふくらむ宇宙</h3>	<h3>太陽系シミュレーター</h3>
	
<p>【設置場所】展示ゾーン（21階）</p> <p>【内 容】 約138億年前の宇宙の誕生から現在の宇宙になるまでを解説した展示。 宇宙の広がりを表現した部屋で音声解説（約3分）を聞きながら、今なお傍聴を続ける宇宙について知ることができる。</p>	<p>【設置場所】展示ゾーン（21階）</p> <p>【内 容】 私たちの住む地球が属する太陽系の中を自由自在に動き回り、色々な角度から太陽系の天体を眺めるシミュレーションソフトを投影している。</p>
<h3>星の一生</h3>	<h3>惑星探査車ローバ</h3>
	
<p>【設置場所】展示ゾーン（21階）</p> <p>【内 容】 約138億年前の宇宙の誕生から現在の宇宙になるまでを解説した展示。 宇宙の広がりを表現した部屋で音声解説（約3分）を聞きながら、今なお傍聴を続ける宇宙について知ることができる。</p>	<p>【設置場所】展示ゾーン（21階）</p> <p>【内 容】 惑星の表面を探査する車両の模型。 探査車模型に取り付けられたカメラの映像を画面で見ながらレバーを操作すると3秒後に探査車が動き、地球-月間の信号の遅れを体験できる。</p>
<h3>ケプラー・モーション</h3>	<h3>トリプルスピン</h3>
	
<p>【設置場所】展示ゾーン（21階）</p> <p>【内 容】 中央がくぼんだ台の上でボールを転がすと、ボールの軌道が橜円を描く。ボールを惑星、くぼみを太陽と考えると惑星が橜円を描いて太陽をまわっていることがわかる。</p>	<p>【設置場所】展示ゾーン（21階）</p> <p>【内 容】 NASA（アメリカ航空宇宙局）で使われたことがある宇宙飛行士の訓練装置と同様の体験型装置。3軸方向に自由に回転する装置でバランスのとり方の訓練を体験できる。</p>
<h3>ムーンジャンプ</h3>	<h3>ビュースコープ</h3>
	
<p>【設置場所】展示ゾーン（21階）</p> <p>【内 容】 月面での重力を疑似体験できる装置。月面では重力が地球上の6分の1ほどであり、地球上でジャンプするよりも高くジャンプすることができる。</p>	<p>【設置場所】展望ロビー（22階）</p> <p>【内 容】 県内で最も高いビルより眼下に広がる街並みや遠くの山並みを展望できる。南側と北側に1台ずつ設置されている。2分間 100円</p>
<h3>鉄道ジオラマ</h3>	<h3>運転シミュレーター</h3>
	
<p>【設置場所】展望ロビー（22階）</p> <p>【内 容】 明治、昭和、現在の郡山駅周辺の街並みを細部まで再現したジオラマ。実物大の150分の1の鉄道模型がジオラマ内を走り抜ける。 総面積は40m²で、Nゲージの鉄道ジオラマとしては全国有数の規模。</p>	<p>【設置場所】展望ロビー（22階）</p> <p>【内 容】 鉄道ジオラマ内の模型に取り付けたCCDカメラの映像を見ながら運転体験ができる。 臨場感あふれる郡山駅前の映像が楽しめる。1回5分30秒 200円</p>
<h3>昔の天文学者が考えた宇宙</h3>	<h3>宇宙劇場（プラネタリウム）</h3>
	
<p>【設置場所】プロローグ（22階）</p> <p>【内 容】 コペルニクス、ハーシェル、ハッブルなど、16～20世紀にかけて天文学者たちが考えた宇宙について知ることができる鑑賞型の展示物。</p>	<p>【設置場所】宇宙劇場（23階）</p> <p>【内 容】 日本に4台しかない「スーパー・ヘリオス」と呼ばれる最新鋭の投影機備えたプラネタリウム。 地上から世界一高いところにあるプラネタリウム（地上高104.25m）としてギネスにも認定されている。</p>